

福岡県筑紫野市における新型コロナウイルス後の医療システム および働き方のあり方について（調査結果）

浅 川 哲 郎

キーワード

- ◆新型コロナウイルス感染症 ◆筑紫野市 ◆医療システム
- ◆働き方 ◆生活の満足度 ◆かかりつけ医

概要

- 福岡都市圏のベッドタウンである筑紫野市において新型コロナウイルス流行後にどのように働き方を変化させたか、またコロナ禍の中で医療情報をどのように入手したか、を調査した。調査票400通を配布し164件の回収を得ている（回収率41.0%）。
- 「全般的な生活の満足度」はコロナ禍の前と後を比較しどのように変化したか、という総論的な質問に対しては、「変わらない。」が53.0%で最も多く、次に「満足度は低くなった。」が25.0%、等と続いている。年齢層から分析すると育児もしくは介護等で家族の世話が必要な「30～39歳」および「50～59歳」の層では「満足度は低くなった。」が「満足度が高くなった。」を大きく上回っている。
- コロナ禍の中において医療情報の提供は十分であったか、という質問に対しては「十分であった。」が51.2%で「十分ではなかった。」が47.6%であった。インターネット等、情報入手の選択肢を多く持つ「29歳以下」や「30～39歳」の層では「十分であった。」と答えた者が「十分ではなかった。」と答えた者よりも60%以上多かった。また医療情報の入手手段としては、「テレビや新聞などの大手マスコミ」が最も多く、「厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報」、「家族など身近な人」と続いた。
- 「かかりつけ医」はいるか、という質問に対しては、「いる。」と答えた者が55.5%で、「いないがいるとよいと思う。」が25.0%、「いない。」が18.3%と続いた。この部分の調査は日医総研の調査を参考に行っているが、筑紫野市の場合、日医総研の調査と比較し「いる。」と答えた者は同程度であるが、「40～49歳」以上の層は筑紫野市では、日医総研の調査より低くなっており、今後の医療施策の重点対象はこの層になるだろう。
- コロナ禍によって「働き方」そのものは変わったか、という質問に対しては、「変わった。」と回答したものが44件、「変わらない。」と回答したものが98件で、3割程度の

ものが「変わった。」と回答している。特に「30～39歳」の層は「変わった。」と回答したものの方が多かった。また、これからの勤務場所については、「自宅および自宅周辺。」と回答したものが126件と圧倒的に多かった。

● 「働き甲斐」についての質問に対しては「変わらない。」が126件で、「変わった。」が22件であった。変化の項目は「より家族のことを重視するようになった。」が22件で最も多かった。

I. はじめに

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、医療システムや働き方も新しい展開になると予想される。医療システムに関して5類後は特別対応をやめ、通常医療への移行に踏み出すことになり、検査等自己負担部分が増加することになる。また働き方に関してもオフィス出社回帰が指摘されるが、ひとつの働き方として定着してきたテレワークを採用し続ける際の工夫についても検討されることになるだろう。

九州産業大学商学部 浅川哲郎研究室では、「新しい福祉社会」のあり方を念頭に、「新型コロナウイルス後の働き方および医療システムのあり方」について調査・研究している¹。ここで「新しい福祉社会」とは「適正な情報開示により、自立した個人が健康に自己実現できる社会」と定義している。この概念の下では問題解決の上でネットワーク型の組織および情報公開のあり方に解答を求める点に特徴があると考えている。今回、調査のフィールドとして取り上げた筑紫野市は福岡市から南に約15km、久留米市から北に約20kmの地点にあり、両市の中に位置する便利なベッドタウンであり、また宝満川沿いに広がる田園地帯を有する自然に恵まれた立地にある。このような環境にある筑紫野市民が新型コロナウイルス流行後にどのように働き方を変化させたか、またコロナ禍の中で医療情報をどのように入手したか、を調査することは他の同様なベッドタウンの都市の福祉システムの構築にも寄与するものと思料した。調査した結果を下記の通り報告する。

¹ 同様の調査を令和5年6月から8月にかけて大野城市において実施している。九州産業大学商学部紀要「商経論叢」第64巻 第2・3号53頁以降参照。紙幅の関係上、地域間の比較という視点での議論は稿を改めてすることにする。

Ⅱ．調査方法

令和5年11月から令和6年2月にかけて添付の調査票400通を、筑紫野市役所、筑紫野市内の公民館、筑紫野市に本社がある企業等に個別に依頼した。結果として164件の回収を得ている（回収率41.0%）。また「コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場」に関しても分析を行っているが、高齢者の場合は、就労していない場合があり、回収総数としては少なくなっている。勤務地の所在地は筑紫野市内が95件、福岡市内が9件、筑紫地区（筑紫野市以外）が13件、その他が18件であった（合計135件）。

また男女別の統計も作成、分析している。男性の回答者は93件（56.7%）、女性の回答者は67件（40.9%）であった。更に既婚者は144件（87.8%）、未婚者は17件（10.4%）である。

今回、調査票を依頼するに際して配慮したのは7つの地区のバランスである。筑紫野市は市全体を、二日市地区（杉塚、北杉塚、塔原、六反、本町、入舟、中央、栄町、昭和、次田、大坪、等）、二日市東地区（紫、天神、旭東、東新町、紫ヶ丘、石崎、若葉中原、針摺、等）、山口地区（平等寺、山口、萩原、立命寺、むさしヶ丘）、御笠地区（柚須原、香園、本道寺、大石、原、宮の森、ゴルフ場団地、みかさ台、西吉木、等）、山家地区（山家1区、山家2区、山家3区、山家中央区、山家6区、山家7区、等）、筑紫地区（城山、筑紫、ちくしヶ丘、ちくし台、下見、美咲、岡田、諸田、常松、永岡、等）、筑紫南地区（原田、光が丘、隈、西小田、馬市、美しが丘北、美しが丘南）という7つの地区に分けている。調査票の回収結果は、二日市地区が44件（26.8%）、二日市東地区が23件（14.0%）、山口地区が7件（4.3%）、御笠地区が19件（11.6%）、山家地区が0件（0%）、筑紫地区が38件（23.2%）、筑紫南地区が33件（20.1%）となった。

Ⅲ．調査結果：全体（資料1参照）

1. 全般的な生活の満足度

「【全員】コロナ禍の前と後を比較して『全般的な生活の満足度』はどのように変化しましたか？」という総論的な質問に対しては、「③ 変わらない。」が87件（53.0%）で最も多く、次に「④ 満足度は低くなった。」が41件（25.0%）、「② 満足度は高まった。」28件（17.1%）、「⑤ 満足度は著しく低くなった。」6件（3.7%）、「① 満足度は著しく高まった。」0件（0%）と続いている。

年齢層から分析すると育児もしくは介護等で家族の世話が必要な「30～39歳」および「50～59歳」の層では「満足度は低くなった。」が「満足度が高くなった。」を大きく上回っている。これはその二つの層では育児もしくは介護等で家族の世話が必要でコロナ禍の環境の中、新たな作業や心配が加わるなどして生活の満足度が低くなったと考えられる²。

2. 医療情報の入手方法

市民の医療サービスの需要者としての立場に対して「【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？」という質問に対しては「① 十分であった。」が84件（51.2%）で「② 十分ではなかった。」が78件（47.6%）であった。「29歳以下」や「30～39歳」の層では「① 十分であった。」と答えた者が「② 十分ではなかった。」と答えた者よりも多く、特に「29歳以下」は全員が「① 十分であった。」と答えている。この理由として若年層はインターネット等、情報入手の選択肢を多く持つことが理由として考えられる。一方「40～49歳」「50～59歳」および「70歳以上」の層では「② 十分ではなかった。」と答えた者が「① 十分であった。」と答えた者よりも多かった。

上記「コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？」という質問に対して「② 十分ではなかった。」と答えた者に、「何の情報が必要でしたか？（複数回答可）」と聞いたところ、「② 受け入れ可能な医療機関。」が72件で、「③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。」が31件と続いた。この傾向は年代によって大差はなかった。

「【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？（複数回答可）」という質問に対しては、「① テレビや新聞などの大手マスコミ。」が最も多く119件（72.6%）で、「② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。」が77件（47.0%）、「④ 家族など身近な人。」が42件（25.6%）と続いた。なお「40～49歳」の層では「② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。」と答えた者が多かった。

3. 「かかりつけ医」に関する意識

新型コロナウイルス禍で、発熱時に診察を受けられない事態が相次いだことがあり、厚生労働省は令和5年10月にも新たな有識者会議をつくり「かかりつけ医」制度の詳細な議論を始めるとしている³。「【全員】「かかりつけ医」はいますか？」という質問に対しては、

² 生活の満足度に関する調査については内閣府で行っている。2023年の報告書については次のホームページを参照。
<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/manzoku/pdf/report07.pdf>

「① いる。」と答えた者が91件（55.5%）で、「② いないがいるとよいと思う。」が41件（25.0%）、「③ いない。」が30件（18.3%）と続いた。

本調査における「かかりつけ医」に関する部分は、日本医師会総合政策研究機構（以下「日医総研」と略す）のワーキングペーパーを参考に実施しているが「日本の医療に関する意識調査：2022年臨時中間調査⁴」によると、かかりつけ医がいると回答した人は全体の55.7%であったので、筑紫野市の場合、日医総研の調査とほぼ同じ結果となっている。年齢層別に分析すると「かかりつけ医」が「① いる。」と回答したものが「60～69歳」の層で日医総研の調査では64.5%に対し筑紫野市では52.6%、「70歳以上」の層では日医総研の調査では76.5%に対し筑紫野市では77.1%となっている。「40～49歳」「50～59歳」および「60～69歳」の層では筑紫野市の値が日医総研の調査を下回っており、今後の医療施策の重点対象はこの層になるのかもしれない。

上記「【全員】「かかりつけ医」はいますか？」の質問に「① いる。」と答えた者に対して「あなたがその医師をかかりつけ医としている理由は何ですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては「⑤ 住まいや職場の近所。」という回答が最も多く56件で、「⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。」が46件、「③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。」が31件、「① 身近で何でも相談できる。」が30件と続いている。「日医総研」の調査では「① 身近で何でも相談できる。」が54.7%で最も多く、「⑤ 住まいや職場の近所。」の54.5%と拮抗している。その後に「⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。」が30.1%、「③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。」が29.1%と続いている⁵。

上記「【全員】「かかりつけ医」はいますか？」の質問に「① いる。」と答えた者に対して「そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては、「① 内科」が圧倒的に多く80件で、続いては「③ 整形外科」が10件、「② 外科」と「⑤ 眼科」が同数で6件であった。この順位は「日医総研」の調査でもほぼ同様であった⁶。

「【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えくださ

³ 令和5年9月27日付「日本経済新聞」5頁。

⁴ 日医総研「日本の医療に関する意識調査：2022年臨時中間調査」、2022年5月24日。https://www.jmari.med.or.jp/wp-content/uploads/2022/07/WP466_1.pdf を令和5年10月5日に閲覧。なお「かかりつけ医」に関する定義も同調査に依っている。

⁵ 日医総研（2022）22頁。

⁶ 日医総研（2022）21頁。

い。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？」という質問に対して「② かかりつけ医が得意としている治療分野」を「必要だ」とした回答が最も多くて112件（68.3%）、次に「⑤ 連携している医療機関」が90件（54.9%）、「① かかりつけ医の診療実績」の79件（48.2%）と続いている（表参照）。この順位は「日医総研」の調査でも同様であった⁷。

表 かかりつけ医を探す際に必要な情報

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	79	48.2%	60	36.6%	15	9.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	112	68.3%	51	31.1%	3	1.8%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	63	38.4%	68	41.5%	16	9.8%
④ 夜間休日の対応	61	37.2%	54	32.9%	36	22.0%
⑤ 連携している医療機関	90	54.9%	62	37.8%	8	4.9%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	25	15.2%	51	31.1%	71	43.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	57	34.8%	75	45.7%	18	11.0%

かかりつけ医に関する情報量の充足度を聞いた「【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては「② まあ足りている」と回答したものが64件（39.0%）で最も多く、「③ やや不足している」が54件（32.9%）、「④ 不足している」が32件（19.5%）、「① 足りている」が12件（7.3%）と続いている。「日医総研」の調査では、「② まあ足りている」（36.7%）と「③ やや不足している」（22.0%）の順位は同じであるが、「④ 不足している」（14.8%）と「① 足りている」（18.1%）と回答しているものの順位が逆転している⁸。

かかりつけ医を持つために役立つ情報源を聞いた「【全員】 健康なときからかかりつけ医を持っておくために、何があると良いと思いますか？あてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては「② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）」が71件（43.3%）で最も多く、「① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）」が68件（41.5%）、「③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）」が54件（32.9%）、「④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）」が46件（28.0%）、「⑤ 地域の医師の話聞く場や講演会など。」が26件（15.9%）と続いている。この順位は「日医総研」の調査とは「① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）」と「② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）」との

⁷ 日医総研（2022）27頁。

⁸ 日医総研（2022）26頁。

順位が逆転していることが異なっている⁹。

ただし「70歳以上」の層では「① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）」や「③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）」が「② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）」を上回るなど年齢層ごとに特徴があることが興味深い。年齢層ごとにきめ細かい情報提供をする必要があるということだろう。

「【全員】あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。」という質問に対しては「① どんな病気でもまずは診療できること。」が99件（60.4%）で最も多く「③ 専門医又は専門医療機関への紹介。」が95件（57.9%）、「② あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと。」が85件（51.8%）、「⑪ 患者に寄り添う親身な対応。」が83件（50.6%）と続いている。「日医総研」の調査では上位4つの項目・順位も同じであった¹⁰。

年齢層で見ると「70歳以上」の層は「② あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと。」を一位にしていることが興味深い。年齢層によってかかりつけ医への役割や機能への期待に差があるということだろう。

4. オンライン診療

オンライン診療についてはコロナ禍の中、注目され令和4年診療報酬改定では新たな診療の形として推進されている。しかし「【全員】オンライン診療についてお尋ねします。」という質問に対しては「① 受診したことがある。」と答えたものが1件（0.6%）のみであった。ただし「② 受診したことはないが知っている。」が135件（82.3%）、「③ 知らない。」は28件（17.1%）でオンライン診療に対する認知度は高まっているという事はできる。

また「【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては「② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。」が92件（56.1%）で最も多く、「③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。」が70件（42.7%）、「⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。」が68件（41.5%）、「④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。」と「⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。」が59件（36.0%）の同数と続いている。

⁹ 日医総研（2022）28頁。

¹⁰ 日医総研（2022）30頁。

本調査における「オンライン診療」に関する部分は、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社（以下「デロイト」と略す）が2020年に実施したアンケート調査¹¹を参考に実施しているが、同調査では「② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。」が最も多く（17%）、「① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。」

（16%）、「③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。」（8%）、「⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。」（6%）と続いている。

「デロイト」の調査は2020年8月という新型コロナウイルス感染症によるパンデミック（世界的な大流行）の初期の段階に行ったものである。これに対して本調査は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した後に実施したので、より落ち着いた状態で「オンライン診療」を比較的客観的に評価したものと言えるであろう。

5. コロナ後の働き方の変化

上記の医療に関する調査は医療サービスの需要者としての立場によるが、コロナ後の働き方の変化、つまり労働・サービスの供給者としての立場に関しても分析していきたい。なお、既述の通り就労者の数は合計で135件であった。

① 働き方の変化

「【全員】 コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？」という質問に対しては、「① 変わった。」と回答したものが44件、「② 変わらない。」と回答したものが98件で、3割程度のものが「① 変わった。」と回答している。

「『① 変わった』とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）」という質問に対しては、「② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。」と回答したものが最も多く44件で、「① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。」が19件、「④ 紙媒体の電子化が進んだ。」が12件と続いている。

また「【全員】 これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては「① 自宅および自宅周

¹¹ デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社「コロナ禍での国内医療機関への通院状況・オンライン診療の活用状況」、2020年8月17日。<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/jp/Documents/about-deloitte/news-releases/jp-nr-nr20200817-survey.pdf> を令和5年10月5日に閲覧。なお同調査のパーセンテージは回答総数に対してであって回収人数に対してのパーセンテージである本調査とは比較はできないことに留意されたい。

辺。」と回答したものが126件と圧倒的に多かった。次に多かったのは「③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。」の10件である。この結果により今後の行政の課題が筑紫野市内の就労環境の整備であることが指摘できる。

② 仕事の満足度

「【全員】 コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？」という質問に対しては「③ 変わらない。」が117件で最も多く、「② 低くなった。」が19件、「① 高まった。」が9件であった。「② 低くなった。」が、「① 高まった。」を倍以上、上回っている。

「『① 高まった』とお答えの方は、高まった要因は何ですか？」という質問に対しては「① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。」が4件で最も多く「② 不必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。」と「③ IT 関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。」が3件で同数であった。業務の効率性の向上による満足度の高まりを指摘するものが多いと言える。

また「『② 低くなった』とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？」という質問に対しては「② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。」が15件で最も多く、「④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。」が11件、「③ IT 関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。」が6件と続いている。急な遠隔勤務等で新しい機器になれていない状況が伺える。また感染の恐怖等で「仕事の満足度」が低くなったことも理解できる。

③ 働き甲斐

上記の「仕事の満足度」は過去の達成に対する感情を示すが、将来に向かったの気持ちである「働き甲斐」について尋ねた「【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？」という質問に対しては「③ 変わらない。」が126件で、「① 変わった。」が22件であった。「『① 変わった』とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）」という質問に対しては「② より家族のことを重視するようになった。」が22件で最も多く、「① より自分自身のことを重視するようになった。」が11件、「③ より地域のことを重視するようになった。」が8件と続いている。上記の勤務場所の選択で「自宅および自宅周辺」を選ぶものが圧倒的に多かったが、より身近な存在にモチベーションを見つける傾向を伺える。

④ 今後に仕事を行う上で必要なこと

「【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）」という質問に対しては「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が62件と最も多く、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が59件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が55件で続いている。上記の仕事の満足度においても職場の上司や顧客とのコミュニケーションに言及しているが、今後のテレワーク等を実行する際には機器の習熟等によりコミュニケーションを円滑に図る努力を行う必要性が挙げられている。また身近に業務を遂行できる設備を必要とするのは勤務場所に「自宅および自宅周辺。」を好む傾向に合致している。加えて専門的な知識を習得する学習システムを必要と考えるのは、テレワークが進む中で専門的な知識があった方が高い仕事の満足度を得ることができると考えたのであろう。法律や会計、IT 技術などの専門知識があった方がテレワークの際に効率的に業務を遂行できるということには納得がいくことである。

Ⅳ. 調査結果：男女別（資料2～資料3 参照）

本調査では男女別の統計も分析している。主要な項目について検討しておこう。

1. 全般的な生活の満足度

「【全員】 コロナ禍の前と後を比較して『全般的な生活の満足度』はどのように変化しましたか？」という総論的な質問に対して、男性で「③ 変わらない。」が55件（56.7%）、「④ 満足度は低くなった。」が21件（21.6%）であったのに対し、女性で「③ 変わらない。」が32件（47.8%）、「④ 満足度は低くなった。」が20件（29.9%）と「全般的な生活の満足度」に関しては女性の方が低い傾向が明らかになっている。

2. 医療情報の入手方法

「【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？」という質問に対しては、男性で「① 十分であった。」が52件（53.6%）で「② 十分ではなかった。」が45件（46.4%）であったのに対し、女性で「① 十分であった。」が32件（47.8%）で「② 十分ではなかった。」が33件（49.3%）と男性は医療情報の提供が十分であったと答えたものが半数以上であったが、女性はその数は半数以下であった。

3. 「かかりつけ医」に関する意識

「【全員】「かかりつけ医」はいますか？」という質問に対しては、男性で「① いる。」と答えた者が61件（62.9%）であったのに対し、女性が30件（44.8%）で10%以上男性の方が多かった。また「【全員】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては男性で「① 足りている」が9件（9.3%）、「② まあ足りている」が38件（39.2%）で肯定的に評価しているものが48.5%であったのに対し、女性で「① 足りている」が3件（4.5%）、「② まあ足りている」が26件（38.8%）で肯定的に評価しているものが43.3%と女性の方がやや値は低いもののこれもほぼ同じであった。

4. オンライン診療

「【全員】オンライン診療についてお尋ねします。」という質問に対しては、男性で「① 受診したことがある。」と答えたものが1件（1.0%）、「② 受診したことはないが知っている。」が79件（81.4%）であったのに対し、女性で「① 受診したことがある。」と答えたものが0件（0.0%）、「② 受診したことはないが知っている。」が56件（83.6%）であり、ほぼ同じ傾向と言える。

5. コロナ後の働き方の変化

① 働き方の変化

「【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？」という質問に対しては、男性で「① 変わった。」と回答したものが25件、「② 変わらない。」と回答したものが59件であった。女性で「① 変わった。」と回答したものが19件、「② 変わらない。」と回答したものが39件でありほぼ同じ傾向と言える。

② 仕事の満足度

「【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？」という質問に対しては、男性で「③ 変わらない。」が最も多く71件、「② 低くなった。」が10件、「① 高まった。」が6件と続いている。女性でも「③ 変わらない。」が最も多く46件、「② 低くなった。」が9件、「① 高まった。」が3件と男性と比較して「② 低くなった。」の割合が高くなっている。

③ 働き甲斐

「【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？」という質問に対しては、男性で「②変わらない」が多く74件、「①変わった。」が14件であった。女性では「②変わらない」が52件、「①変わった。」が8件で、「①変わった。」の割合はほぼ同じである。「①変わった。」と回答した者に対して「何が変わりましたか？」の問いに対しては、「②より家族のことを重視するようになった。」「①より自分自身のことを重視するようになった。」の順になり、より内向きの姿勢になっていることがわかる。

④ 今後に仕事を行う上で必要なこと

「【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）」という質問に対しては、男性で「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が最も多く37件、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が36件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が29件と続いている。女性でも「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が最も多く33件、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」と「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」とが同数で29件となっている。

V. 調査結果：地区別（資料4～資料9参照）

既述の通り筑紫野市は市全体を、二日市地区、二日市東地区、山口地区、御笠地区、山家地区、筑紫地区、そして筑紫南地区という7つの地区に分けている。本稿では30件以上の回答があった3地区、つまり二日市地区（44名）、筑紫地区（38名）、そして筑紫南地区（33名）の地区ごとの特徴を検討しておこう¹²。

1. 全般的な生活の満足度

「【全員】 コロナ禍の前と後を比較して『全般的な生活の満足度』はどのように変化しましたか？」という総論的な質問に対して、3つの地区で「③ 変わらない。」が最も多かったが、2つの地区が40%台の中、特に二日市地区が28件（63.6%）で最も多かった。また、2番目は3つの地区とも「④ 満足度は低くなった。」であった。ただし筑紫南地区は、「②

¹² 山家地区は回答を得られなかったため資料も添付していない。

満足度は高まった。」と答えた者が7件（21.2%）と特に多かった。

2. 医療情報の入手方法

「【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？」という質問に対しては、二日市地区のみが「① 十分であった。」が28件（63.6%）で「② 十分ではなかった。」の15件（34.1%）を上回った。その他の2地区は「① 十分であった。」が「② 十分ではなかった。」を下回っている。

3. 「かかりつけ医」に関する意識

「【全員】「かかりつけ医」はいますか？」という質問に対しては、「① いる。」と答えた者は筑紫地区が最も多く23件（60.5%）、筑紫南地区の19件（57.6%）、二日市地区の22件（50.0%）と続いている。また「【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては二日市地区で「① 足りている」が3件（6.8%）、「② まあ足りている」が16件（36.4%）で肯定的に評価しているものが43.2%、筑紫地区で「① 足りている」が2件（5.3%）、「② まあ足りている」が19件（50.0%）で肯定的に評価しているものが55.3%、筑紫南地区で「① 足りている」が3件（9.1%）、「② まあ足りている」が13件（39.4%）で肯定的に評価しているものが48.5%であった。

4. オンライン診療

「【全員】 オンライン診療についてお尋ねします。」という質問に対しては、「① 受診したことがある。」と答えたものは二日市地区の1件のみで、「② 受診したことはないが知っている。」が二日市地区で38件（84.6%）、筑紫地区で28件（73.7%）、筑紫南地区で29件（87.9%）であった。オンライン診療の認知度は二日市地区と筑紫南地区でかなり高いと言える。

5. コロナ後の働き方の変化

① 働き方の変化

「【全員】 コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？」という質問に対しては、3地区とも「② 変わらない。」と回答したものの方が倍程度多かった。

② 仕事の満足度

「【全員】 コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？」という質問に対しては、全ての地区で「③ 変わらない。」が最も多く、「② 低くなった。」「① 高まった。」の順である。ただし筑紫南地区が「③ 変わらない。」が25件、「② 低くなった。」が5件、「① 高まった。」が2件と他の地区と比較して「② 低くなった。」の割合が高くなっている。

③ 働き甲斐

「【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？」という質問に対しては、全ての地区で「② 変わらない」が多かった。ただし、二日市地区と筑紫地区では2割程度が「① 変わった。」と答えているが、二日市地区では5%程度に過ぎなかった。

④ 今後に仕事を行う上で必要なこと

「【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）」という質問に対しては、各地区での回答が分かれている。二日市地区では「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が最も多く20件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が14件、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が13件である。筑紫地区では「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が最も多く18件、「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が16件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が7件と続いている。筑紫南地区では「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が最も多く最も多く17件、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が12件、「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が9件である。

Ⅵ. 調査結果：5類移行後の医療システムおよび働き方の変化について

（資料10参照）

「【全員】 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した後に、医療サービスの受け方および働き方を変える予定がありましたら、どのように変えるかお書きください。」という質問に対しては、17件の記述が寄せられている。

寄せられた回答の中では医療情報関係（①、⑬、⑰等）、医療システム関係（②、⑥、⑭等）や医療関係の研究開発関係（④等）等の記述が多かった。また働き方の改善を回答

する者もあった（⑤、⑰等）。

〔資料1〕新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：総計

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	6 名	11 名	29 名	32 名	38 名	48 名	164 名
【1. 回答者のデータ】							
1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？							
① 二日市地区	2 33.3%	3 27.3%	4 13.8%	13 40.6%	7 18.4%	15 31.3%	44 26.8%
② 二日市東地区	2 33.3%	3 27.3%	6 20.7%	3 9.4%	3 7.9%	6 12.5%	23 14.0%
③ 山口地区	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%	3 9.4%	0 0.0%	1 2.1%	7 4.3%
④ 御笠地区	0 0.0%	1 9.1%	3 10.3%	4 12.5%	4 10.5%	7 14.6%	19 11.6%
⑤ 山家地区	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥ 筑紫地区	2 33.3%	4 36.4%	9 31.0%	5 15.6%	7 18.4%	11 22.9%	38 23.2%
⑦ 筑紫南地区	0 0.0%	0 0.0%	4 13.8%	4 12.5%	17 44.7%	8 16.7%	33 20.1%

※ %は全て上記の回収人数に対してのものである。

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	4 66.7%	6 54.5%	11 37.9%	17 53.1%	18 47.4%	37 77.1%	93 56.7%
② 女性	2 33.3%	5 45.5%	15 51.7%	14 43.8%	20 52.6%	11 22.9%	67 40.9%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	1 16.7%	7 63.6%	26 89.7%	28 87.5%	37 97.4%	45 93.8%	144 87.8%
② 未婚	5 83.3%	4 36.4%	2 6.9%	4 12.5%	1 2.6%	1 2.1%	17 10.4%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正雇用 (労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	6 100.0%	10 90.9%	16 55.2%	10 31.3%	5 13.2%	0 0.0%	47 28.7%
② 契約社員・パート・アルバイト等の非正雇用	0 0.0%	1 9.1%	7 24.1%	6 18.8%	12 31.6%	5 10.4%	31 18.9%
③ 会社などの役員	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	3 9.4%	3 7.9%	1 2.1%	9 5.5%
④ 自営業	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	6 18.8%	6 15.8%	8 16.7%	22 13.4%
⑤ 内職・在宅ワーク	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥ 学生 (高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦ 無職	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	4 12.5%	10 26.3%	25 52.1%	41 25.0%
⑧ その他 (	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.4%	2 5.3%	9 18.8%	14 8.5%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
② 満足度は高まった。	2 33.3%	1 9.1%	6 20.7%	5 15.6%	8 21.1%	6 12.5%	28 17.1%
③ 変わらない。	3 50.0%	7 63.6%	16 55.2%	17 53.1%	18 47.4%	26 54.2%	87 53.0%
④ 満足度は低くなった。	1 16.7%	3 27.3%	7 24.1%	9 28.1%	9 23.7%	12 25.0%	41 25.0%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	2 5.3%	3 6.3%	6 3.7%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	6	名	11	名	29	名	32	名	38	名	48	名	164	名

【Ⅱ. 医療情報の入手方法：医療サービスの需要者としての立場】

1. 【全員】コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？

① 十分であった。	6	100.0%	9	81.8%	13	44.8%	14	43.8%	19	50.0%	23	47.9%	84	51.2%
② 十分ではなかった。→ 下記2. にお進みください。	0	0.0%	2	18.2%	16	55.2%	17	53.1%	18	47.4%	25	52.1%	78	47.6%

2. 上記1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？（複数回答可）

① 感染者数の推移。	0		1		2		2		5		8		18	
② 受け入れ可能な医療機関。	0		3		14		16		16		23		72	
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	0		2		3		6		4		16		31	
④ 感染を防ぐための手段。	0		1		5		5		5		7		23	
⑤ その他（	0		0		0		2		2		1		5	

3. 【全員】医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？（複数回答可）

① テレビや新聞などの大手マスメディア。	2	33.3%	7	63.6%	16	55.2%	22	68.8%	31	81.6%	41	85.4%	119	72.6%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	2	33.3%	6	54.5%	20	69.0%	16	50.0%	17	44.7%	16	33.3%	77	47.0%
③ 病院などの医療機関。	2	33.3%	1	9.1%	7	24.1%	3	9.4%	3	7.9%	4	8.3%	20	12.2%
④ 家族など身近な人。	2	33.3%	4	36.4%	6	20.7%	11	34.4%	7	18.4%	12	25.0%	42	25.6%
⑤ その他（	0	0.0%	0	0.0%	3	10.3%	2	6.3%	4	10.5%	1	2.1%	10	6.1%

4. 【全員】「かかりつけ医」はいますか？

① いる。→ 下記5. にお進みください。	3	50.0%	9	81.8%	8	27.6%	14	43.8%	20	52.6%	37	77.1%	91	55.5%
② いないが思いやると思う。	1	16.7%	1	9.1%	14	48.3%	11	34.4%	10	26.3%	4	8.3%	41	25.0%
③ いない。	2	33.3%	1	9.1%	6	20.7%	7	21.9%	8	21.1%	6	12.5%	30	18.3%
④ わからない。	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。	6		11		29		32		38		48		164	
① 身近で何でも相談できる。	1		2		3		6		5		13		30	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		1		3		2		6	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	1		3		1		1		7		18		31	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	1		0		0		3		3		5		12	
⑤ 住まいや職場の近所。	1		7		5		8		12		23		56	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	2		3		1		6		11		23		46	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	1		2		0		4		3		12		22	
⑧ その他（	0		0		0		1		0		1		2	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	3		6		7		11		18		35		80	
② 外科	0		1		0		6		2		2		6	
③ 整形外科	0		0		1		2		4		3		10	
④ 婦人科	0		1		2		0		0		0		3	
⑤ 眼科	0		0		1		1		2		2		6	
⑥ 小児科	0		2		1		1		0		0		4	
⑦ その他（	0		2		1		2		0		3		8	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%	5	13.2%	5	10.4%	12	7.3%
② まあ足りている	3	50.0%	7	63.6%	8	27.6%	9	28.1%	13	34.2%	24	50.0%	64	39.0%
③ やや不足している	2	33.3%	3	27.3%	12	41.4%	12	37.5%	10	26.3%	15	31.3%	54	32.9%
④ 不足している	1	16.7%	1	9.1%	9	31.0%	8	25.0%	9	23.7%	4	8.3%	32	19.5%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
回収人数	6名	11名	29名	32名	38名	48名	164名
9. 【全員】健康なときからかかりつけ医を持っておくために、 何があると思いますか？あてはまるものをすべてお答えく ださい。							
①自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）	0	2	18.2%	12	41.4%	17	44.7%
②自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）	6	54.5%	14	48.3%	19	50.0%	71
③地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）	0	0.0%	12	41.4%	13	34.2%	54
④地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）	2	33.3%	9	31.0%	13	40.6%	46
⑤地域の医師の話を聞く場や講演会など。	0	0.0%	3	10.3%	5	13.2%	26
⑥その他（	0	0.0%	1	9.1%	4	12.5%	11
11. 【全員】あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を 期待しますか？次の中からすべてお答えください。							
①どんな病気でもまずは診療できること。	4	66.7%	9	81.8%	20	69.0%	19
②あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと。	2	33.3%	3	27.3%	13	44.8%	16
③専門医又は専門医療機関への紹介。	2	33.3%	6	54.5%	17	58.6%	19
④あなたのこれまでの経歴や処方すべて把握していること（一元的に管理）。	2	33.3%	6	54.5%	11	37.9%	12
⑤夜間・休日・休日の問い合わせへの対応。	0	0.0%	4	36.4%	8	27.6%	10
⑥複数医師の体制（かかりつけ医が不在の時に連携した別の 医師が対応する体制）。	1	16.7%	3	27.3%	7	24.1%	9
⑦予防医療（健診・検診）、ワクチン接種などの実施。	1	16.7%	3	27.3%	11	37.9%	7
⑧往診や訪問診療などの在宅医療。	0	0.0%	0	0.0%	3	10.3%	4
⑨介護サービスへのつなぎ。	0	0.0%	0	0.0%	3	10.3%	7
⑩感染症発生時など有事への対応。	0	0.0%	2	18.2%	9	31.0%	9
⑪患者に寄り添う親身な対応。	2	33.3%	5	45.5%	16	55.2%	18
⑫その他（	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	6	11	29	32	38	48	164
12. 【全員】 オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。	名	名	名	名	名	名	名
① 受診したことがある。	0	0	0	0	0	1	1
② 受診したことはないが知っている。	4	9	28	25	29	40	135
③ 知らない。	2	2	1	7	9	7	28
13. 【全員】 オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。							
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	1	1	4	5	8	8	27
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	1	7	16	19	23	26	92
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	5	7	14	23	21	70
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	1	1	6	16	17	18	59
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	1	5	10	16	15	12	59
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0	5	9	14	15	43
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	1	5	8	14	20	20	68
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	2	2	6	4	10	24
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	1	6	7	12	14	14	54
⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	2	2	9	11	9	13	46
⑪ 診察時間の選択が通院と同じになるとよい。	0	2	9	9	3	8	31
⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	0	2	5	8	5	8	28
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	2	4	9	13	12	8	48
⑭ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	1	4	7	9	8	9	38
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	1	1	2	5	6	12	27
⑯ あてはまるものはない。	1	1	1	1	3	3	10

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		5	9	21	21	15	24	95
② 福岡市内		0	2	1	1	3	2	9
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	4	2	6	1	13
④ その他（ ）		1	0	3	4	9	1	18
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。		1	4	7	10	13	9	44
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。		5	7	22	20	21	23	98
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。		0	0	3	4	7	5	19
② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	4	6	8	14	12	44
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		1	2	3	2	2	1	11
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	1	2	3	3	3	12
⑤ その他（ ）		1	0	1	0	1	1	4
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		3	9	28	29	31	26	126
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	1	0	1	2
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		3	2	1	0	1	3	10
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	2	0	2
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。		0	1	4	0	1	3	9
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。		0	2	3	6	4	4	19
③ 変わらない。		6	8	23	23	29	28	117

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族という時間が増えた。	0	0	2	0	1	1	4
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	1	0	0	2	3
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	2	0	1	0	3
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	1	0	0	0	0	1
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	2	1	1	0	4
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	1	2	5	4	3	15
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	1	1	2	2	6
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	1	2	2	2	4	11
⑤ その他（	0	1	0	1	0	0	2

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	4	5	3	5	5	22
② 変わらない	6	7	24	27	29	33	126

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	1	2	1	3	4	11
② より家族のことを重視するようになった。	0	4	5	3	5	5	22
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	1	0	2	5	8
④ より会社のことを重視するようになった。	0	1	0	1	0	0	2
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	2	1	3
⑥ その他（	0	0	0	0	0	1	1

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクゼーションができる公園などの施設。	0	0	5	3	7	5	20
② 手軽に調査などができる図書館。	0	1	2	2	4	7	16
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	3	4	15	14	12	14	62
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	2	9	17	12	8	11	59
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	0	10	11	16	18	55
⑥ その他（	1	1	0	1	2	3	8

（資料1）新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：総計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報はありますか？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

164 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	79	48.2%	60	36.6%	15	9.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	112	68.3%	51	31.1%	3	1.8%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	63	38.4%	68	41.5%	16	9.8%
④ 夜間休日の対応	61	37.2%	54	32.9%	36	22.0%
⑤ 連携している医療機関	90	54.9%	62	37.8%	8	4.9%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	25	15.2%	51	31.1%	71	43.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	57	34.8%	75	45.7%	18	11.0%

① 29歳以下

6 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	3	50.0%	1	16.7%	2	33.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	16.7%	5	83.3%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	2	33.3%	4	66.7%
⑤ 連携している医療機関	2	33.3%	4	66.7%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	16.7%	5	83.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	16.7%	4	66.7%	1	16.7%

② 30～39歳

11 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	4	36.4%	5	45.5%	2	18.2%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	8	72.7%	2	18.2%	1	9.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	36.4%	4	36.4%	3	27.3%
④ 夜間休日の対応	7	63.6%	2	18.2%	2	18.2%
⑤ 連携している医療機関	6	54.5%	4	36.4%	1	9.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	2	18.2%	9	81.8%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	9.1%	8	72.7%	2	18.2%

③ 40～49歳

29 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	14	48.3%	14	48.3%	1	3.4%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	19	65.5%	19	65.5%	1	3.4%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	10	34.5%	10	34.5%	4	13.8%
④ 夜間休日の対応	11	37.9%	11	37.9%	4	13.8%
⑤ 連携している医療機関	18	62.1%	18	62.1%	1	3.4%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	5	17.2%	5	17.2%	14	48.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	14	48.3%	14	48.3%	1	3.4%

④ 50～59歳

32 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	13	40.6%	13	40.6%	4	12.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	22	68.8%	8	25.0%	1	3.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	8	25.0%	17	53.1%	5	15.6%
④ 夜間休日の対応	12	37.5%	12	37.5%	6	18.8%
⑤ 連携している医療機関	13	40.6%	14	43.8%	2	6.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	6.3%	13	40.6%	14	43.8%
⑦ 患者や利用者からの評価	9	28.1%	17	53.1%	3	9.4%

⑤ 60～69歳

38 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	22	57.9%	10	26.3%	4	10.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	26	68.4%	10	26.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	18	47.4%	14	36.8%	3	7.9%
④ 夜間休日の対応	11	28.9%	18	47.4%	6	15.8%
⑤ 連携している医療機関	22	57.9%	10	26.3%	3	7.9%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	6	15.8%	17	44.7%	11	28.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	14	36.8%	16	42.1%	5	13.2%

⑥ 70歳以上

48 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	23	47.9%	17	35.4%	2	4.2%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	33	68.8%	10	20.8%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	22	45.8%	18	37.5%	1	2.1%
④ 夜間休日の対応	20	41.7%	9	18.8%	14	29.2%
⑤ 連携している医療機関	29	60.4%	12	25.0%	1	2.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	12	25.0%	13	27.1%	18	37.5%
⑦ 患者や利用者からの評価	18	37.5%	16	33.3%	6	12.5%

〔資料2〕新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：男性合計

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計			
	4	名	6	名	18	名	37	名	97	名

【1. 回答者のデータ】

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

① 二日市地区	1	25.0%	1	16.7%	1	7.1%	10	55.6%	2	11.1%	10	27.0%	25	25.8%
② 二日市東地区	1	25.0%	3	50.0%	2	14.3%	3	16.7%	2	11.1%	6	16.2%	17	17.5%
③ 山口地区	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	2	11.1%	0	0.0%	1	2.7%	4	4.1%
④ 御笠地区	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	2	11.1%	1	5.6%	5	13.5%	9	9.3%
⑤ 山家地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 筑紫地区	2	50.0%	2	33.3%	6	42.9%	1	5.6%	1	5.6%	8	21.6%	20	20.6%
⑦ 筑紫南地区	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%	0	0.0%	12	66.7%	7	18.9%	22	22.7%

※ %は全て上記の回収人数に対してのものである。

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	4	100.0%	6	100.0%	14	100.0%	18	100.0%	18	100.0%	37	100.0%	97	100.0%
② 女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	1	25.0%	5	83.3%	12	85.7%	14	77.8%	18	100.0%	35	94.6%	85	87.6%
② 未婚	3	75.0%	1	16.7%	1	7.1%	4	22.2%	0	0.0%	1	2.7%	10	10.3%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正規雇用（労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）	4	100.0%	5	83.3%	11	78.6%	8	44.4%	3	16.7%	0	0.0%	31	32.0%
② 契約社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	0	0.0%	1	16.7%	1	7.1%	2	11.1%	3	16.7%	2	5.4%	9	9.3%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	2	11.1%	3	16.7%	1	2.7%	8	8.2%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	27.8%	4	22.2%	8	21.6%	17	17.5%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生（高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	16.7%	19	51.4%	22	22.7%
⑧ その他（	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	2	11.1%	7	18.9%	10	10.3%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 満足度は高まった。	1	25.0%	1	16.7%	5	35.7%	2	11.1%	3	16.7%	6	16.2%	18	18.6%
③ 変わらない。	2	50.0%	4	66.7%	7	50.0%	10	55.6%	10	55.6%	22	59.5%	55	56.7%
④ 満足度は低くなった。	1	25.0%	1	16.7%	2	14.3%	5	27.8%	5	27.8%	7	18.9%	21	21.6%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	2	5.4%	3	3.1%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	4	名	6	名	14	名	18	名	18	名	37	名	97	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	1		1		2		2		3		10		19	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		1		2		1		4	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		1		0		1		3		12		17	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		2		3		5		10	
⑤ 住まいや職場の近所。	0		5		4		3		7		17		36	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	1		3		0		3		6		19		32	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		1		0		1		3		11		16	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		1		1	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	2		4		6		6		10		27		55	
② 外科	0		0		0		0		2		1		3	
③ 整形外科	0		0		0		1		3		2		6	
④ 婦人科	0		0		0		0		0		0		0	
⑤ 眼科	0		0		0		1		2		1		4	
⑥ 小児科	0		1		0		0		0		0		1	
⑦ その他（	0		2		0		0		0		3		5	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	4	22.2%	4	10.8%	9	9.3%
② まあ足りている	2	50.0%	5	83.3%	4	28.6%	4	22.2%	6	33.3%	17	45.9%	38	39.2%
③ やや不足している	2	50.0%	1	16.7%	6	42.9%	7	38.9%	4	22.2%	13	35.1%	33	34.0%
④ 不足している	0	0.0%	0	0.0%	4	28.6%	6	33.3%	4	22.2%	3	8.1%	17	17.5%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	4	名	6	名	14	名	18	名	18	名	37	名	97	名
12. 【全員】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものすべてをお答えください。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.7%	1	1.0%
② 受診したことはないが知っている。	2	50.0%	5	83.3%	13	92.9%	13	72.2%	15	83.3%	31	83.8%	79	81.4%
③ 知らない。	2	50.0%	1	16.7%	1	7.1%	5	27.8%	3	16.7%	5	13.5%	17	17.5%
13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものすべてをお答えください。														
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	1	25.0%	1	16.7%	2	14.3%	1	5.6%	5	27.8%	6	16.2%	16	16.5%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	1	25.0%	3	50.0%	7	50.0%	7	38.9%	11	61.1%	19	51.4%	48	49.5%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	0.0%	4	66.7%	4	28.6%	7	38.9%	13	72.2%	14	37.8%	42	43.3%
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	1	25.0%	1	16.7%	2	14.3%	8	44.4%	10	55.6%	15	40.5%	37	38.1%
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	0	0.0%	4	66.7%	4	28.6%	5	27.8%	7	38.9%	9	24.3%	29	29.9%
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%	3	16.7%	8	44.4%	13	35.1%	27	27.8%
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	1	25.0%	4	66.7%	7	50.0%	4	22.2%	11	61.1%	15	40.5%	42	43.3%
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0.0%	2	33.3%	2	14.3%	1	5.6%	3	16.7%	10	27.0%	18	18.6%
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	0	0.0%	4	66.7%	4	28.6%	3	16.7%	5	27.8%	10	27.0%	26	26.8%
⑩ 診察時間の選択が更に広がるとよい。	2	50.0%	2	33.3%	4	28.6%	3	16.7%	4	22.2%	8	21.6%	23	23.7%
⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	1	0.0%	2	33.3%	5	35.7%	2	11.1%	2	11.1%	7	18.9%	18	18.6%
⑫ 診療の各種手数料が通院と同じになるとよい。	0	0.0%	2	33.3%	4	28.6%	0	0.0%	2	11.1%	7	18.9%	15	15.5%
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	2	50.0%	4	66.7%	7	50.0%	6	33.3%	9	50.0%	5	13.5%	33	34.0%
⑭ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	1	25.0%	3	50.0%	4	28.6%	3	16.7%	5	27.8%	6	16.2%	22	22.7%
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	1	25.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	5.6%	4	22.2%	7	18.9%	14	14.4%
⑯ あてはまるものはない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	1	5.6%	3	8.1%	5	5.2%

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？							
① 筑紫野市内	3	4	10	15	9	18	59
② 福岡市内	0	2	1	0	3	2	8
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）	0	0	1	1	2	1	5
④ その他（ ）	1	0	2	0	4	0	7
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？							
① 変わった。→ 下記3. にお進みください。	1	2	5	4	7	6	25
② 変わらない。→ 下記4. にお進みください。	3	4	9	12	11	20	59
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）							
① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	0	2	1	6	2	11
② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	0	2	4	4	8	9	27
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	1	2	0	1	1	5
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	1	2	1	1	1	6
⑤ その他（ ）	1	0	1	0	0	1	3
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。							
① 自宅および自宅周辺。	2	5	13	15	16	21	72
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	0	1	0	1	2
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。	2	1	1	0	1	3	8
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）	0	0	0	0	1	0	1
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？							
① 高まった。→ 下記6. にお進みください。	0	1	3	0	1	1	6
② 低くなった。→ 下記7. にお進みください。	0	1	2	2	2	3	10
③ 変わらない。	4	4	10	14	15	24	71

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族という時間が増えた。	0	0	2	0	1	0	3
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	0	0	0	0	1	1
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	2	0	1	0	3
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	1	0	0	0	0	1
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	2	0	0	0	2
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	1	1	2	3	7
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	1	2	3
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	1	1	0	3	5
⑤ その他（	0	1	0	1	0	0	2

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	3	2	1	4	4	14
② 変わらない	4	3	12	15	14	26	74

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	1	1	0	2	4	8
② より家族のことを重視するようになった。	0	3	2	1	4	5	15
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	2	5	7
④ より会社のことを重視するようになった。	0	1	0	0	0	0	1
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	1	0	1
⑥ その他（	0	0	0	0	0	1	1

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手軽に調査などができる図書館。	0	0	4	1	3	4	12
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	0	1	0	2	6	9
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	2	2	7	8	7	11	37
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	2	5	9	6	5	9	36
⑥ その他（	0	0	3	3	8	15	29

(資料2) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：男性合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何ですか？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

97 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	44	45.4%	34	35.1%	12	12.4%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	67	69.1%	25	25.8%	1	1.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	37	38.1%	43	44.3%	10	10.3%
④ 夜間休日の対応	39	40.2%	34	35.1%	19	19.6%
⑤ 連携している医療機関	52	53.6%	33	34.0%	6	6.2%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	15	15.5%	32	33.0%	44	45.4%
⑦ 患者や利用者からの評価	33	34.0%	43	44.3%	13	13.4%

① 29歳以下

4 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	50.0%	0	0.0%	2	50.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	2	50.0%	2	50.0%
⑤ 連携している医療機関	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	25.0%	2	50.0%	1	25.0%

② 30～39歳

6 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	16.7%	4	66.7%	1	16.7%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	5	83.3%	1	16.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	33.3%	3	50.0%	1	16.7%
④ 夜間休日の対応	5	83.3%	1	16.7%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	16.7%	5	83.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%

③ 40～49歳

14 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	8	57.1%	5	35.7%	1	7.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	9	64.3%	5	35.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	5	35.7%	7	50.0%	2	14.3%
④ 夜間休日の対応	4	28.6%	8	57.1%	2	14.3%
⑤ 連携している医療機関	6	42.9%	7	50.0%	1	7.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	14.3%	4	28.6%	8	57.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	5	35.7%	8	57.1%	1	7.1%

④ 50～59歳

18 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	5	27.8%	7	38.9%	4	22.2%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	11	61.1%	5	27.8%	1	5.6%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	16.7%	8	44.4%	5	27.8%
④ 夜間休日の対応	8	44.4%	6	33.3%	3	16.7%
⑤ 連携している医療機関	7	38.9%	7	38.9%	2	11.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	5.6%	6	33.3%	9	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	4	22.2%	9	50.0%	3	16.7%

⑤ 60～69歳

18 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	11	61.1%	4	22.2%	2	11.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	13	72.2%	5	27.8%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	8	44.4%	8	44.4%	1	5.6%
④ 夜間休日の対応	6	33.3%	9	50.0%	2	11.1%
⑤ 連携している医療機関	11	61.1%	5	27.8%	2	11.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	16.7%	9	50.0%	5	27.8%
⑦ 患者や利用者からの評価	8	44.4%	6	33.3%	3	16.7%

⑥ 70歳以上

37 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	17	45.9%	14	37.8%	2	5.4%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	26	70.3%	8	21.6%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	18	48.6%	14	37.8%	1	2.7%
④ 夜間休日の対応	16	43.2%	8	21.6%	10	27.0%
⑤ 連携している医療機関	23	62.2%	9	24.3%	1	2.7%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	9	24.3%	11	29.7%	14	37.8%
⑦ 患者や利用者からの評価	15	40.5%	13	35.1%	4	10.8%

〔資料3〕新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：女性合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	5	名	15	名	14	名	20	名	11	名	67	名
【1. 回答者のデータ】														
1. 【全員】 お住まいの地区はどちらですか？														
① 二日市地区	1	50.0%	2	40.0%	3	20.0%	3	21.4%	5	25.0%	5	45.5%	19	28.4%
② 二日市東地区	1	50.0%	0	0.0%	4	26.7%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	6	9.0%
③ 山口地区	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.5%
④ 御空地区	0	0.0%	1	20.0%	2	13.3%	2	14.3%	3	15.0%	2	18.2%	10	14.9%
⑤ 山家地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 筑紫地区	0	0.0%	2	40.0%	3	20.0%	4	28.6%	6	30.0%	3	27.3%	18	26.9%
⑦ 筑紫南地区	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	4	28.6%	5	25.0%	1	9.1%	11	16.4%
※ %は全て上記の回収人数に対してのものである。														
3. 【全員】 性別をお答えください。														
① 男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 女性	2	100.0%	5	100.0%	15	100.0%	14	100.0%	20	100.0%	11	100.0%	67	100.0%
4. 【全員】 既婚ですか？未婚ですか？														
① 既婚	0	0.0%	2	40.0%	14	93.3%	14	100.0%	19	95.0%	10	90.9%	59	88.1%
② 未婚	2	100.0%	3	60.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	7	10.4%
5. 【全員】 あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。														
① 正規雇用（労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）	2	100.0%	5	100.0%	5	33.3%	2	14.3%	2	10.0%	0	0.0%	16	23.9%
② 契約社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	0	0.0%	0	0.0%	6	40.0%	4	28.6%	9	45.0%	3	27.3%	22	32.8%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	1	7.1%	2	10.0%	0	0.0%	5	7.5%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生（高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	4	28.6%	7	35.0%	6	54.5%	19	28.4%
⑧ その他（	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%	2	18.2%	4	6.0%
6. 【全員】 コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？														
① 満足度は著しく高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 満足度は高まった。	1	50.0%	0	0.0%	1	6.7%	3	21.4%	5	25.0%	0	0.0%	10	14.9%
③ 変わらない。	1	50.0%	3	60.0%	9	60.0%	7	50.0%	8	40.0%	4	36.4%	32	47.8%
④ 満足度は低くなった。	0	0.0%	2	40.0%	5	33.3%	4	28.6%	4	20.0%	5	45.5%	20	29.9%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	1	9.1%	3	4.5%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	5	名	15	名	14	名	20	名	11	名	67	名

【Ⅱ. 医療情報の入手方法：医療サービスの需要者としての立場】

1. 【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？

① 十分であった。	2	100.0%	3	60.0%	9	60.0%	3	21.4%	10	50.0%	5	45.5%	32	47.8%
② 十分ではなかった。→ 下記 2. にお進みください。	0	0.0%	2	40.0%	6	40.0%	10	71.4%	9	45.0%	6	54.5%	33	49.3%

2. 上記 1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？（複数回答可）

① 感染者数の推移。	0		1		0		1		2		1		5	
② 受け入れ可能な医療機関。	0		2		6		11		9		6		34	
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	0		0		0		2		3		3		8	
④ 感染を防ぐための手段。	0		0		0		2		0		1		3	
⑤ その他（	0		0		0		1		1		0		2	

3. 【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？（複数回答可）

① テレビや新聞などの大手マスコミ。	1	50.0%	3	60.0%	6	40.0%	11	78.6%	17	85.0%	7	63.6%	45	67.2%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	1	50.0%	3	60.0%	10	66.7%	8	57.1%	7	35.0%	3	27.3%	32	47.8%
③ 病院などの医療機関。	0	0.0%	0	0.0%	3	20.0%	1	7.1%	1	5.0%	3	27.3%	8	11.9%
④ 家族など身近な人。	1	50.0%	1	20.0%	3	20.0%	6	42.9%	6	30.0%	3	27.3%	20	29.9%
⑤ その他（	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	1	7.1%	2	10.0%	0	0.0%	5	7.5%

4. 【全員】 「かかりつけ医」はいますか？

① いる。→ 下記 5. にお進みください。	1	50.0%	3	60.0%	2	13.3%	7	50.0%	9	45.0%	8	72.7%	30	44.8%
② いないがいないと思う。	0	0.0%	1	20.0%	9	60.0%	6	42.9%	6	30.0%	2	18.2%	24	35.8%
③ いない。	1	50.0%	1	20.0%	3	20.0%	1	7.1%	5	25.0%	1	9.1%	12	17.9%
④ わからない。	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計
	2	名	5	名	15	名	14	名	20	名	11	名	
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。													67
① 身近で何でも相談できる。	0		1		1		4		2		3		11
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		1		1		2
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	1		2		1		0		4		6		14
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	1		0		0		1		0		0		2
⑤ 住まいや職場の近所。	1		2		1		5		5		6		20
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	1		0		1		3		5		4		14
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	1		1		0		3		0		1		6
⑧ その他（	0		0		0		1		0		0		1

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	1		2		1		5		8		8		25
② 外科	0		1		0		1		0		1		3
③ 整形外科	0		0		1		1		1		1		4
④ 婦人科	0		1		2		0		0		0		3
⑤ 眼科	0		0		1		0		0		1		2
⑥ 小児科	0		1		1		1		0		0		3
⑦ その他（	0		0		1		2		0		0		3

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	5.0%	1	9.1%	3	4.5%
② まあ足りている	1	50.0%	2	40.0%	4	26.7%	5	35.7%	7	35.0%	7	63.6%	26	38.8%
③ やや不足している	0	0.0%	2	40.0%	6	40.0%	5	35.7%	6	30.0%	2	18.2%	21	31.3%
④ 不足している	1	50.0%	1	20.0%	5	33.3%	2	14.3%	5	25.0%	1	9.1%	15	22.4%

	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	5	名	15	名	14	名	20	名	11	名	67	名
回収人数														
9. 【全員】健康なときからかかりつけ医を持っておくために、何があると思いますか？あてはまるものをすべてお答えください。														
① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）	0	0.0%	0	0.0%	6	40.0%	8	57.1%	9	45.0%	6	54.5%	29	43.3%
② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）	2	100.0%	3	60.0%	7	46.7%	8	57.1%	7	35.0%	3	27.3%	30	44.8%
③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）	0	0.0%	1	20.0%	5	33.3%	6	42.9%	6	30.0%	3	27.3%	21	31.3%
④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）	1	50.0%	3	60.0%	3	20.0%	6	42.9%	2	10.0%	17	18.2%	17	25.4%
⑤ 地域の医師の話を聞く場や講演会など。	0	0.0%	1	20.0%	1	6.7%	2	14.3%	2	10.0%	4	36.4%	10	14.9%
⑥ その他（	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	7.1%	3	15.0%	0	0.0%	5	7.5%

11. 【全員】 あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。

[illegible]

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2	5	15	14	20	11	67
12. 【全員】 オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。	名	名	名	名	名	名	名
① 受診したことがある。	0	0	0	0	0	0	0
② 受診したことはないが知っている。	2	4	15	12	14	9	56
③ 知らない。	0	1	0	2	6	2	11
13. 【全員】 オンライン診療についての期待についてお聞かせください。							
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	0	0	2	4	3	2	11
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	0	4	9	12	12	7	44
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	1	3	7	10	7	28
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	0	0	4	8	7	3	22
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	1	1	6	11	8	3	30
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0	2	6	6	2	16
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	0	1	1	10	9	5	26
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0	0	5	1	0	6
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	1	2	3	9	9	4	28
⑩ 診察時間の選択肢が更に広がるとよい。	0	0	5	8	5	5	23
⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい	0	0	4	7	1	1	13
⑫ 診療の各種手数料が通院と同じになるとよい	0	0	1	8	3	1	13
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	0	0	2	7	3	3	15
⑭ 支払いや決済の選択肢が更に広がるとよい	0	1	3	6	3	3	16
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい	0	0	2	4	2	5	13
⑯ あてはまるものはない	1	1	1	0	2	0	5

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		2	5	11	6	6	6	36
② 福岡市内		0	0	0	1	0	0	1
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	3	1	4	0	8
④ その他（ ）		0	0	1	4	5	1	11
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。		0	2	2	6	6	3	19
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。		2	3	13	8	10	3	39
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。		0	0	1	3	1	3	8
② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	2	2	4	6	3	17
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		1	1	1	2	1	0	6
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	0	0	2	2	2	6
⑤ その他（ ）		0	0	0	0	1	0	1
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		1	4	15	14	15	5	54
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	0	0	0	0
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		1	1	0	0	0	0	2
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	1	0	1
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。		0	0	1	0	0	2	3
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。		0	1	1	4	2	1	9
③ 変わらない。		2	4	13	9	14	4	46

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といえる時間が増えた。	0	0	0	0	0	1	1
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	1	0	0	1	2
③ IT関係のスキルの向上により効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	1	1	0	2
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	1	1	4	2	0	8
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	1	1	1	0	3
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	1	1	1	2	1	6
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	1	3	2	1	1	8
②変わらない	2	4	12	12	15	7	52

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

①より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	1	1	1	0	3
②より家族のことを重視するようになった。	0	1	3	2	1	0	7
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	1	0	0	0	1
④より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	1	1	0	1
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	1	1	2
⑥その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	1	3	4	1	9
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	1	1	2	2	1	7
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	1	2	8	14	5	3	33
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	4	8	12	3	2	29
⑥ その他（	0	0	7	11	8	3	29

(資料3) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：女性合計

7. 【全員】 かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

67 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	35	52.2%	26	38.8%	3	4.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	45	67.2%	16	23.9%	2	3.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	26	38.8%	30	44.8%	6	9.0%
④ 夜間休日の対応	22	32.8%	23	34.3%	17	25.4%
⑤ 連携している医療機関	38	56.7%	21	31.3%	2	3.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	10	14.9%	24	35.8%	27	40.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	24	35.8%	32	47.8%	5	7.5%

① 29歳以下

2 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
⑤ 連携している医療機関	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%

② 30～39歳

5 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	3	60.0%	1	20.0%	1	20.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	60.0%	1	20.0%	1	20.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	40.0%	1	20.0%	2	40.0%
④ 夜間休日の対応	2	40.0%	1	20.0%	2	40.0%
⑤ 連携している医療機関	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	20.0%	3	60.0%	1	20.0%

③ 40～49歳

15 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	6	40.0%	9	60.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	10	66.7%	4	26.7%	1	6.7%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	5	33.3%	8	53.3%	2	13.3%
④ 夜間休日の対応	7	46.7%	6	40.0%	2	13.3%
⑤ 連携している医療機関	12	80.0%	3	20.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	20.0%	6	40.0%	6	40.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	9	60.0%	6	40.0%	0	0.0%

④ 50～59歳

14 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	8	57.1%	6	42.9%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	11	78.6%	3	21.4%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	5	35.7%	9	64.3%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	4	28.6%	6	42.9%	3	21.4%
⑤ 連携している医療機関	6	42.9%	7	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	7.1%	7	50.0%	5	35.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	5	35.7%	8	57.1%	0	0.0%

⑤ 60～69歳

20 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	11	55.0%	6	30.0%	2	10.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	13	65.0%	5	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	10	50.0%	6	30.0%	2	10.0%
④ 夜間休日の対応	5	25.0%	9	45.0%	4	20.0%
⑤ 連携している医療機関	11	55.0%	5	25.0%	1	5.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	15.0%	8	40.0%	6	30.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	6	30.0%	10	50.0%	2	10.0%

⑥ 70歳以上

11 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	6	54.5%	3	27.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	7	63.6%	2	18.2%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	36.4%	4	36.4%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	4	36.4%	1	9.1%	4	36.4%
⑤ 連携している医療機関	6	54.5%	3	27.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	27.3%	2	18.2%	4	36.4%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	27.3%	3	27.3%	2	18.2%

〔資料4〕新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：二日市地区合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	3	名	4	名	13	名	7	名	15	名	44	名
【1. 回答者のデータ】														
1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？														
① 二日市地区	2	100.0%	3	100.0%	4	100.0%	13	100.0%	7	100.0%	15	100.0%	44	100.0%
② 二日市東地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ 山口地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 御笠地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 山家地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 筑紫地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 筑紫南地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
※%は全て上記の回収人数に対してのものである。														
3. 【全員】性別をお答えください。														
① 男性	1	50.0%	1	33.3%	1	25.0%	9	69.2%	2	28.6%	10	66.7%	24	54.5%
② 女性	1	50.0%	2	66.7%	3	75.0%	3	23.1%	5	71.4%	5	33.3%	19	43.2%
4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？														
① 既婚	0	0.0%	2	66.7%	4	100.0%	11	84.6%	6	85.7%	14	93.3%	37	84.1%
② 未婚	2	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	15.4%	1	14.3%	1	6.7%	7	15.9%
5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。														
① 正雇用 (労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	2	100.0%	3	100.0%	2	50.0%	4	30.8%	0	0.0%	0	0.0%	11	25.0%
② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	3	23.1%	3	42.9%	1	6.7%	9	20.5%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	0	0.0%	1	6.7%	3	6.8%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	23.1%	1	14.3%	4	26.7%	8	18.2%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生 (高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	7	46.7%	10	22.7%
⑧ その他 (	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	2	13.3%	3	6.8%
6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？														
① 満足度は著しく高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 満足度は高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	23.1%	2	28.6%	0	0.0%	5	11.4%
③ 変わらない。	2	100.0%	2	66.7%	2	50.0%	9	69.2%	3	42.9%	10	66.7%	28	63.6%
④ 満足度は低くなった。	0	0.0%	1	33.3%	2	50.0%	1	7.7%	1	14.3%	5	33.3%	10	22.7%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	2.3%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	3	名	4	名	13	名	7	名	15	名	44	名

【Ⅱ. 医療情報の入手方法：医療サービスの需要者としての立場】

1. 【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？

① 十分であった。	2	100.0%	3	100.0%	3	75.0%	7	53.8%	5	71.4%	8	53.3%	28	63.6%
② 十分ではなかった。→ 下記 2. にお進みください。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	5	38.5%	2	28.6%	7	46.7%	15	34.1%

2. 上記 1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？（複数回答可）

① 感染者数の推移。	0		0		0		1		1		2		4	
② 受け入れ可能な医療機関。	0		0		1		5		2		7		15	
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	0		0		0		2		1		4		7	
④ 感染を防ぐための手段。	0		0		1		1		0		2		4	
⑤ その他（	0		0		0		1		1		0		2	

3. 【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？（複数回答可）

① テレビや新聞などの大手マスメディア。	0	0.0%	2	66.7%	3	75.0%	7	53.8%	7	100.0%	13	86.7%	32	72.7%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	1	50.0%	2	66.7%	2	50.0%	7	53.8%	0	0.0%	5	33.3%	17	38.6%
③ 病院などの医療機関。	1	50.0%	1	33.3%	1	25.0%	2	15.4%	0	0.0%	1	6.7%	6	13.6%
④ 家族など身近な人。	1	50.0%	1	33.3%	0	0.0%	4	30.8%	0	0.0%	2	13.3%	8	18.2%
⑤ その他（	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

4. 【全員】 「かかりつけ医」はいますか？

① いる。→ 下記 5. にお進みください。	1	50.0%	2	66.7%	1	25.0%	4	30.8%	5	71.4%	9	60.0%	22	50.0%
② いないが思いとよいと思う。	1	50.0%	1	33.3%	2	50.0%	5	38.5%	1	14.3%	3	20.0%	13	29.5%
③ いない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	30.8%	1	14.3%	2	13.3%	7	15.9%
④ わからない。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%

	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計
回収人数	2	名	3	名	4	名	13	名	7	名	15	名	44
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。													
① 身近で何でも相談できる。	0		0		1		1		0		2		4
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		1		0		1		2
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	1		1		1		0		1		6		10
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	1		0		0		1		0		2		4
⑤ 住まいや職場の近所。	1		2		1		2		2		7		15
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	1		0		0		2		2		5		10
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	1		0		0		1		0		3		5
⑧ その他（	0		0		0		1		0		0		1

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	1		2		1		4		4		9		21
② 外科	0		1		0		0		0		0		1
③ 整形外科	0		0		1		0		1		0		2
④ 婦人科	0		1		1		0		0		0		2
⑤ 眼科	0		0		1		0		1		0		2
⑥ 小児科	0		1		1		1		0		0		3
⑦ その他（	0		0		1		1		0		1		3

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	14.3%	1	6.7%	3	6.8%
② まあ足りている	1	50.0%	2	66.7%	2	50.0%	2	15.4%	2	28.6%	7	46.7%	16	36.4%
③ やや不足している	1	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	7	53.8%	2	28.6%	6	40.0%	17	38.6%
④ 不足している	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%	3	23.1%	1	14.3%	1	6.7%	7	15.9%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2	3	4	13	7	15	44
名	名	名	名	名	名	名	名
12. 【全員】 オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。							
① 受診したことがある。	0	0	0	0	0	1	1
② 受診したことはないが知っている。	2	3	4	11	4	14	38
③ 知らない。	0	0	0	2	3	0	5
13. 【全員】 オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。							
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	0	0	0	0	2	2	4
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	0	3	2	5	6	8	24
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	1	2	4	5	6	18
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	0	0	0	4	2	6	12
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	0	1	2	4	2	5	14
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0	0	3	3	5	11
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	0	1	1	7	3	7	19
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0	0	2	0	3	5
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	0	1	0	3	3	5	12
⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい	0	1	1	3	1	6	12
⑪ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい	0	1	0	3	0	2	6
⑫ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	1	0	1	3	2	5	12
⑬ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい	0	1	0	3	2	3	9
⑭ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい	1	1	0	0	1	4	7
⑮ あてはまるものはない	1	0	1	1	0	0	3

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		2	3	3	12	4	10	34
② 福岡市内		0	0	0	0	0	1	1
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	1	0	1	0	2
④ その他（ ）		0	0	0	0	2	0	2
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。→ 下記 3. にお進みください。		0	2	0	4	1	3	10
② 変わらない。→ 下記 4. にお進みください。		2	1	4	8	6	8	29
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進化した。		0	0	0	1	1	3	5
② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	2	0	3	2	5	12
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		0	1	0	1	1	0	3
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	0	0	1	1	1	3
⑤ その他（ ）		0	0	0	0	1	0	1
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		2	2	4	11	6	8	33
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	1	0	0	1
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		0	1	0	0	0	2	3
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	1	0	1
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。→ 下記 6. にお進みください。		0	0	0	0	0	2	2
② 低くなった。→ 下記 7. にお進みください。		0	0	0	1	1	1	3
③ 変わらない。		2	3	4	11	6	8	34

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族という時間が増えた。	0	0	0	0	0	1	1
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	0	0	0	0	1	1
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0
7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？							
① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	0	1	0	1
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	0	1	1	1	3
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	1	1	2
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	0	0	1	1	2
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0
8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？							
①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	0	0	1	1	0	2
②変わらない	2	3	4	11	6	11	37
9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）							
①より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	0	1	1	2
②より家族のことを重視するようになった。	0	0	0	2	1	1	4
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	2	2
④より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	1	0	1
⑥その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	0	0	1	1	2
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	0	0	0	1	2	3
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	1	2	2	7	3	5	20
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	2	3	3	2	3	13
⑥ その他（	0	0	2	4	4	4	14

(資料4) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：二日市地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計**44 名**

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	17	38.6%	22	50.0%	3	6.8%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	31	70.5%	11	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	17	38.6%	19	43.2%	6	13.6%
④ 夜間休日の対応	15	34.1%	18	40.9%	9	20.5%
⑤ 連携している医療機関	26	59.1%	14	31.8%	1	2.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	5	11.4%	19	43.2%	16	36.4%
⑦ 患者や利用者からの評価	13	29.5%	25	56.8%	4	9.1%

① 29歳以下**2 名**

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑤ 連携している医療機関	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%

② 30～39歳**3 名**

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
④ 夜間休日の対応	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%

③ 40～49歳**4 名**

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	2	50.0%	2	50.0%
④ 夜間休日の対応	1	25.0%	2	50.0%	1	25.0%
⑤ 連携している医療機関	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	25.0%	1	25.0%	2	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%

④ 50～59歳

13 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	4	30.8%	6	46.2%	2	15.4%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	8	61.5%	4	30.8%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	7.7%	8	61.5%	3	23.1%
④ 夜間休日の対応	3	23.1%	8	61.5%	2	15.4%
⑤ 連携している医療機関	4	30.8%	8	61.5%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	7.7%	8	61.5%	3	23.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	15.4%	9	69.2%	1	7.7%

⑤ 60～69歳

7 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	7	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	14.3%	4	57.1%	1	14.3%
⑤ 連携している医療機関	5	71.4%	1	14.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	2	28.6%	3	42.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	42.9%	3	42.9%	1	14.3%

⑥ 70歳以上

15 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	6	40.0%	8	53.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	10	66.7%	4	26.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	9	60.0%	5	33.3%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	7	46.7%	3	20.0%	4	26.7%
⑤ 連携している医療機関	11	73.3%	2	13.3%	1	6.7%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	20.0%	6	40.0%	5	33.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	6	40.0%	6	40.0%	2	13.3%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	3	名	6	名	3	名	3	名	6	名	23	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	0		1		0		1		1		1		4	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		1		0		1	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		0		0		0		1		1		2	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		1		1		1		3	
⑤ 住まいや職場の近所。	0		3		0		1		3		3		10	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0		1		0		1		1		3		6	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		0		0		0		1		1		2	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		1		1	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0		3		0		1		3		4		11	
② 外科	0		0		0		0		0		0		0	
③ 整形外科	0		0		0		1		0		1		2	
④ 婦人科	0		0		0		0		0		0		0	
⑤ 眼科	0		0		0		1		0		1		2	
⑥ 小児科	0		0		0		0		0		0		0	
⑦ その他（	0		0		0		0		0		1		1	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	4.3%
② まあ足りている	1	50.0%	2	66.7%	1	16.7%	0	0.0%	1	33.3%	2	33.3%	7	30.4%
③ やや不足している	0	0.0%	1	33.3%	2	33.3%	2	66.7%	1	33.3%	3	50.0%	9	39.1%
④ 不足している	1	50.0%	0	0.0%	3	50.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	16.7%	6	26.1%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2	3	6	3	3	6	23
9. 【全員】健康なときからかかりつけ医を持っておくために、 何があると思いますか？あてはまるものすべてお答えく ださい。							
① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）	0	1	3	0	2	2	8
② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）	2	1	1	0	3	1	8
③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）	0	1	4	1	1	1	8
④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）	2	0	1	2	1	1	7
⑤ 地域の医師の話を聞く場や講演会など。	0	0	1	2	0	2	5
⑥ その他（	0	0	0	1	0	1	2

11. 【全員】 あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。

[illegible]

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		2	2	3	2	0	0	9
② 福岡市内		0	1	1	0	0	1	3
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	1	1	2	0	4
④ その他（ ）		0	0	1	0	1	0	2
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。		0	1	2	1	3	1	8
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。		2	2	4	2	0	0	10
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。		0	0	1	1	2	1	5
② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	1	1	1	3	1	7
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		1	1	1	0	0	0	3
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	0	1	0	1	0	2
⑤ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		1	3	6	3	3	1	17
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	0	0	0	0
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		1	0	0	0	0	0	1
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。		0	0	1	0	0	0	1
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。		0	1	1	1	1	0	4
③ 変わらない。		2	2	4	2	2	1	13

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といえる時間が増えた。	0	0	1	0	0	0	1
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	0	0	0	0	0
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	0	0	0	0
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	1	1	1	0	3
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	1	0	1	0	2
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	1	1	0	0	2
⑤ その他（	0	1	0	0	0	0	1

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	2	1	0	1	1	5
②変わらない	2	1	5	3	2	2	15

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

①より自分自身のことを重視するようになった。	0	1	1	0	1	1	4
②より家族のことを重視するようになった。	0	2	1	0	1	1	5
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	1	0	1
④より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	2	1	0	0	3
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	0	1	0	0	0	1
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	2	1	3	2	2	1	11
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	1	2	4	2	1	0	10
⑥ その他（	0	0	2	0	2	2	6

(資料5) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：二日市東地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

23 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	12	52.2%	8	34.8%	1	4.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	14	60.9%	7	30.4%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	8	34.8%	12	52.2%	1	4.3%
④ 夜間休日の対応	9	39.1%	5	21.7%	6	26.1%
⑤ 連携している医療機関	11	47.8%	9	39.1%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	13.0%	3	13.0%	14	60.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	8	34.8%	9	39.1%	3	13.0%

① 29歳以下

2 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%

② 30～39歳

3 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%

③ 40～49歳

6 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	50.0%	2	33.3%	1	16.7%
④ 夜間休日の対応	2	33.3%	3	50.0%	1	16.7%
⑤ 連携している医療機関	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	16.7%	2	33.3%	3	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%

④ 50～59歳

3名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%

⑤ 60～69歳

3名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%

⑥ 70歳以上

6名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	66.7%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%
⑤ 連携している医療機関	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	16.7%	0	0.0%	2	33.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	0	名	3	名	3	名	0	名	1	名	7	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	0		0		0		1		0		1		2	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		0		0		0	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		0		0		0		0		1		1	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		0		0		0		0	
⑤ 住まいや職場の近所。	0		0		1		0		0		0		1	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0		0		0		1		0		1		2	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		0		0		0		0		0		0	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0		0		1		1		0		1		3	
② 外科	0		0		0		0		0		0		0	
③ 整形外科	0		0		0		0		0		0		0	
④ 婦人科	0		0		0		0		0		0		0	
⑤ 眼科	0		0		0		0		0		0		0	
⑥ 小児科	0		0		0		0		0		0		0	
⑦ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② まあ足りている	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%	1	100.0%	4	57.1%
③ やや不足している	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
④ 不足している	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		0	0	3	2	0	1	6
② 福岡市内		0	0	0	0	0	0	0
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	0	0	0	0	0
④ その他（ ）		0	0	0	1	0	0	1
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。		0	0	0	0	0	0	0
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。		0	0	3	3	0	0	6
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進化した。		0	0	0	0	0	0	0
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	0	0	0	0	1	1
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		0	0	0	0	0	0	0
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		0	0	3	3	0	0	6
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	0	0	0	0
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		0	0	0	0	0	1	1
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。		0	0	0	0	0	0	0
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。		0	0	0	0	0	0	0
③ 変わらない。		0	0	3	3	0	1	7

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といえる時間が増えた。	0	0	0	0	0	0	0
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	0	0	0	0	0
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0
7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？							
① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	0	0	0	0
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0
8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？							
①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	0	1	0	0	0	1
②変わらない	0	0	2	3	0	1	6
9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）							
①より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
②より家族のことを重視するようになった。	0	0	1	0	0	0	1
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	1	0	0	0	1
④より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	1	1	0	0	2
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	0	0	0	0	0	0
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	0	0	1	0	0	0	1
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	0	1	3	0	1	5
⑥ その他（	0	0	1	0	0	0	1

(資料6) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：山口地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報はありますか？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

7名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	3	42.9%	2	28.6%	2	28.6%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	42.9%	2	28.6%	2	28.6%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	42.9%	3	42.9%	1	14.3%
④ 夜間休日の対応	3	42.9%	2	28.6%	2	28.6%
⑤ 連携している医療機関	4	57.1%	2	28.6%	1	14.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	28.6%	2	28.6%	3	42.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	4	57.1%	2	28.6%	1	14.3%

① 29歳以下

0名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

② 30～39歳

0名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

③ 40～49歳

3名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%

④ 50～59歳

3 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
④ 夜間休日の対応	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%

⑤ 60～69歳

0 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

⑥ 70歳以上

1 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

〔資料7〕新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：御等地區合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	1	名	3	名	4	名	4	名	7	名	19	名

【1. 回答者のデータ】

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

① 二日市地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 二日市東地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ 山口地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 御笠地区	0	0.0%	1	100.0%	3	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	7	100.0%	19	100.0%
⑤ 山家地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 筑紫地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 筑紫南地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※ %は全て上記の回収人数に対してのものである。

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	50.0%	1	25.0%	5	71.4%	9	47.4%
② 女性	0	0.0%	1	100.0%	2	66.7%	2	50.0%	3	75.0%	2	28.6%	10	52.6%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	3	75.0%	4	100.0%	6	85.7%	16	84.2%
② 未婚	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.5%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正規雇用（労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）	0	0.0%	1	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	3	15.8%
② 契約社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	50.0%	2	50.0%	2	28.6%	7	36.8%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.5%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生（高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	4	57.1%	6	31.6%
⑧ その他（	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	5.3%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 満足度は高まった。	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	50.0%	1	14.3%	4	21.1%
③ 変わらない。	0	0.0%	1	100.0%	1	33.3%	2	50.0%	1	25.0%	2	28.6%	7	36.8%
④ 満足度は低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%	1	25.0%	2	28.6%	5	26.3%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	10.5%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	1	名	3	名	4	名	4	名	7	名	19	名
【Ⅱ. 医療情報の入手方法：医療サービスの需要者としての立場】														
1. 【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？														
① 十分であった。	0	0.0%	1	100.0%	1	33.3%	2	50.0%	1	25.0%	2	28.6%	7	36.8%
② 十分ではなかった。→ 下記 2. にお進みください。	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	2	50.0%	2	50.0%	5	71.4%	11	57.9%
2. 上記 1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？（複数回答可）														
① 感染者数の推移。	0		0		0		1		1		0		2	
② 受け入れ可能な医療機関。	0		0		2		2		2		5		11	
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	0		0		0		2		1		4		7	
④ 感染を防ぐための手段。	0		0		0		0		0		2		2	
⑤ その他（	0		0		0		0		0		0		0	
3. 【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？（複数回答可）														
① テレビや新聞などの大手マスコミ。	0	#DIV/0!	0	0.0%	1	33.3%	3	75.0%	4	100.0%	5	71.4%	13	68.4%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	0	#DIV/0!	1	100.0%	2	66.7%	1	25.0%	3	75.0%	4	57.1%	11	57.9%
③ 病院などの医療機関。	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	2	10.5%
④ 家族など身近な人。	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	3	42.9%	5	26.3%
⑤ その他（	0	#DIV/0!	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	2	10.5%
4. 【全員】 「かかりつけ医」はいますか？														
① いる。→ 下記 5. にお進みください。	0	#DIV/0!	1	100.0%	1	33.3%	2	50.0%	0	0.0%	6	85.7%	10	52.6%
② いないががいると思う。	0	#DIV/0!	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	1	25.0%	1	14.3%	4	21.1%
③ いない。	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	3	75.0%	0	0.0%	5	26.3%
④ わからない。	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	1	名	3	名	4	名	4	名	7	名	19	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	0		0		0		0		0		3		3	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		0		1		1	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		1		0		1		0		1		3	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		0		0		1		1	
⑤ 住まいや職場の近所。	0		0		1		1		0		2		4	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0		0		0		1		0		3		4	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		0		0		1		0		2		3	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0		1		1		2		0		6		10	
② 外科	0		0		0		0		0		0		0	
③ 整形外科	0		0		0		0		0		0		0	
④ 婦人科	0		0		0		0		0		0		0	
⑤ 眼科	0		0		0		0		0		0		0	
⑥ 小児科	0		0		0		0		0		0		0	
⑦ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	1	14.3%	3	15.8%
② まあ足りている	0	0.0%	1	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	5	26.3%
③ やや不足している	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%	0	0.0%	2	28.6%	4	21.1%
④ 不足している	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%	3	75.0%	1	14.3%	6	31.6%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	0	1	2	3	4	5	
9. 【全員】健康なときからかかりつけ医を持っておくために、何があると思いませんか？あてはまるものをすべてお答えください。	0	0	1	3	4	7	19
① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）	0	0	1	3	3	3	10
② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）	0	0	1	1	0	3	5
③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）	0	0	2	2	2	3	9
④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）	0	0	1	0	1	1	3
⑤ 地域の医師の話を聞く場や講演会など。	0	0	0	0	2	2	4
⑥ その他（	0	0	0	0	0	0	0

11. 【全員】 あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。

[illegible]

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	1	名	3	名	4	名	4	名	7	名	19	名
12. 【全員】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 受診したことはないが知っている。	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	50.0%	3	75.0%	6	85.7%	14	73.7%
③ 知らない。	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	2	50.0%	1	25.0%	1	14.3%	5	26.3%
13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	3	15.8%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	3	75.0%	3	75.0%	4	57.1%	13	68.4%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	3	75.0%	1	25.0%	2	28.6%	8	42.1%
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	4	100.0%	1	14.3%	7	36.8%
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	2	50.0%	3	42.9%	7	36.8%
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	1	14.3%	4	21.1%
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	100.0%	3	42.9%	8	42.1%
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	3	42.9%	5	26.3%
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%	2	28.6%	6	31.6%
⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	3	15.8%
⑪ 診療の各種手数料が通院と同じになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	2	28.6%	4	21.1%
⑫ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	1	14.3%	4	21.1%
⑬ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%	1	25.0%	1	14.3%	4	21.1%
⑭ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	2	28.6%	4	21.1%
⑮ あてはまるものはない。	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	10.5%

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		0	1	2	2	1	3	9
② 福岡市内		0	0	0	1	0	0	1
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	1	0	1	0	2
④ その他（ ）		0	0	0	1	1	1	3
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。		0	0	2	1	1	2	6
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。		0	1	1	3	2	4	11
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進化した。		0	0	1	0	0	1	2
② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	0	2	1	1	1	5
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		0	0	0	0	0	0	0
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	0	0	0	0	1	1
⑤ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		0	1	3	4	3	3	14
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	0	0	1	1
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		0	0	0	0	0	0	0
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。		0	0	1	0	0	0	1
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。		0	0	0	1	1	1	3
③ 変わらない。		0	1	2	3	2	5	13

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といえる時間が増えた。	0	0	0	0	0	0	0
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	1	0	0	0	1
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	0	0	0	0
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	0	0	1	0	1
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	0	0	1	1	2
⑤ その他（	0	0	0	1	0	0	1

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	0	1	0	0	1	2
②変わらない	0	1	2	4	3	5	15

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

①より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
②より家族のことを重視するようになった。	0	0	1	0	0	0	1
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	0	1	1
⑥その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	0	0	0	2	2
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	0	0	1	1	2	4
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	0	0	2	0	2	1	5
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	1	0	0	0	0	1
⑥ その他（	0	0	2	2	1	5	10

(資料7) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：御笠地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

19 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	11	57.9%	3	15.8%	2	10.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	12	63.2%	3	15.8%	1	5.3%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	10	52.6%	3	15.8%	2	10.5%
④ 夜間休日の対応	11	57.9%	2	10.5%	3	15.8%
⑤ 連携している医療機関	10	52.6%	3	15.8%	2	10.5%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	7	36.8%	3	15.8%	6	31.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	8	42.1%	3	15.8%	3	15.8%

① 29歳以下

0 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

② 30～39歳

1 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%

③ 40～49歳

3 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
④ 夜間休日の対応	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%

④ 50～59歳

4 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	25.0%	1	25.0%	1	25.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

⑤ 60～69歳

4 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

⑥ 70歳以上

7 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	4	57.1%	2	28.6%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	5	71.4%	1	14.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	57.1%	2	28.6%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	5	71.4%	0	0.0%	2	28.6%
⑤ 連携している医療機関	4	57.1%	2	28.6%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	42.9%	2	28.6%	2	28.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	42.9%	2	28.6%	1	14.3%

〔資料8〕新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：筑紫地区合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	4	名	9	名	5	名	7	名	11	名	38	名
【1. 回答者のデータ】														
1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？														
① 二日市地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 二日市東地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ 山口地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 御笠地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 山家地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 筑紫地区	2	100.0%	4	100.0%	9	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	11	100.0%	38	100.0%
⑦ 筑紫南地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
※ %は全て上記の回収人数に対してのものである。														
3. 【全員】性別をお答えください。														
① 男性	2	100.0%	2	50.0%	4	44.4%	1	20.0%	1	14.3%	8	72.7%	18	47.4%
② 女性	0	0.0%	2	50.0%	3	33.3%	4	80.0%	6	85.7%	3	27.3%	18	47.4%
4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？														
① 既婚	1	50.0%	2	50.0%	7	77.8%	5	100.0%	7	100.0%	11	100.0%	33	86.8%
② 未婚	1	50.0%	2	50.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.5%
5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なものを1つを選んでください。														
① 正規雇用（労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）	2	100.0%	3	75.0%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	23.7%
② 契約社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	0	0.0%	1	25.0%	2	22.2%	1	20.0%	3	42.9%	2	18.2%	9	23.7%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	18.2%	3	7.9%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生（高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	3	60.0%	3	42.9%	3	27.3%	10	26.3%
⑧ その他（	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	4	36.4%	5	13.2%
6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？														
① 満足度は著しく高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 満足度は高まった。	1	50.0%	1	25.0%	3	33.3%	0	0.0%	1	14.3%	1	9.1%	7	18.4%
③ 変わらない。	0	0.0%	2	50.0%	5	55.6%	2	40.0%	4	57.1%	5	45.5%	18	47.4%
④ 満足度は低くなった。	1	50.0%	1	25.0%	1	11.1%	3	60.0%	1	14.3%	3	27.3%	10	26.3%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	18.2%	3	7.9%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	4	名	9	名	5	名	7	名	11	名	38	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	1		1		2		2		2		4		12	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		1		0		1	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		1		0		0		1		4		6	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		1		0		0		1	
⑤ 住まいや職場の近所。	0		2		1		1		1		6		11	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	1		2		1		0		3		7		14	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		2		0		1		0		4		7	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	2		0		3		2		3		9		19	
② 外科	0		0		0		0		1		1		2	
③ 整形外科	0		0		0		1		2		2		5	
④ 婦人科	0		0		1		0		0		0		1	
⑤ 眼科	0		0		0		0		0		1		1	
⑥ 小児科	0		1		0		0		0		0		1	
⑦ その他（	0		2		0		0		0		1		3	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	2	5.3%
② まあ足りている	1	50.0%	2	50.0%	3	33.3%	3	60.0%	3	42.9%	7	63.6%	19	50.0%
③ やや不足している	1	50.0%	2	50.0%	3	33.3%	1	20.0%	2	28.6%	1	9.1%	10	26.3%
④ 不足している	0	0.0%	0	0.0%	3	33.3%	1	20.0%	2	28.6%	1	9.1%	7	18.4%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2	4	9	5	7	11	38
名	名	名	名	名	名	名	名
12. 【全員】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。							
① 受診したことがある。	0	0	0	0	0	0	0
② 受診したことはないが知っている。	0	3	8	5	4	8	28
③ 知らない。	2	1	1	0	3	3	10
13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。							
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	1	1	2	2	0	1	7
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	0	3	3	5	5	6	22
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	2	1	1	2	5	11
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	0	1	1	2	1	4	9
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	0	2	3	4	3	2	14
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0	3	2	2	4	11
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	1	2	3	2	4	5	17
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	2	1	1	1	2	7
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	0	3	2	3	2	4	14
⑩ 診察時間の選択が更に広がるとよい。	2	1	4	3	2	2	14
⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	1	1	5	3	0	4	13
⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	0	1	4	2	1	3	11
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	0	2	6	3	2	2	15
⑭ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	0	2	3	2	2	4	13
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0	0	0	2	0	2	4
⑯ あてはまるものはない。	0	0	0	0	1	2	3

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		1	3	7	1	3	7	22
② 福岡市内		0	1	0	0	1	0	2
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	1	0	0	1	2
④ その他（ ）		1	0	1	1	0	0	3
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。→ 下記3. にお進みください。		1	1	3	0	3	2	10
② 変わらない。→ 下記4. にお進みください。		1	3	6	4	1	6	21
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。		0	0	1	0	1	0	2
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	1	3	0	3	3	10
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		0	0	2	0	0	0	2
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	1	1	0	1	1	4
⑤ その他（ ）		1	0	1	0	0	1	3
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		0	3	9	4	3	7	26
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	0	0	0	0
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		2	1	0	0	1	0	4
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。→ 下記6. にお進みください。		0	1	2	0	0	0	3
② 低くなった。→ 下記7. にお進みください。		0	1	2	0	0	1	4
③ 変わらない。		2	2	6	3	4	8	25

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といえる時間が増えた。	0	0	1	0	0	0	1
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	0	0	0	0	0
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	2	0	0	0	2
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	1	0	0	0	0	1
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	2	0	0	0	2
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	1	1	0	0	1	3
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	1	1
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	1	1	0	0	1	3
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	2	1	0	0	3	6
②変わらない	2	2	8	4	4	7	27

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

①より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	1	0	0	2	3
②より家族のことを重視するようになった。	0	2	1	0	0	3	6
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	3	3
④より会社のことを重視するようになった。	0	1	0	0	0	0	1
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他（	0	0	0	0	0	1	1

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	2	0	0	1	3
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	1	1	0	0	1	3
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	0	1	5	3	0	7	16
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	1	4	5	1	1	6	18
⑥ その他（	0	0	1	2	1	3	7

(資料8) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：筑紫地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

38 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	18	47.4%	14	36.8%	4	10.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	25	65.8%	12	31.6%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	13	34.2%	19	50.0%	3	7.9%
④ 夜間休日の対応	12	31.6%	12	31.6%	13	34.2%
⑤ 連携している医療機関	22	57.9%	13	34.2%	2	5.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	5	13.2%	12	31.6%	20	52.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	11	28.9%	22	57.9%	2	5.3%

① 29歳以下

2 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%

② 30～39歳

4 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	50.0%	1	25.0%	1	25.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	25.0%	2	50.0%	1	25.0%
④ 夜間休日の対応	2	50.0%	1	25.0%	1	25.0%
⑤ 連携している医療機関	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%

③ 40～49歳

9 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	7	77.8%	2	22.2%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	33.3%	6	66.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	5	55.6%	3	33.3%	1	11.1%
⑤ 連携している医療機関	7	77.8%	2	22.2%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	11.1%	3	33.3%	5	55.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	6	66.7%	3	33.3%	0	0.0%

④ 50～59歳

5 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	1	20.0%	3	60.0%	1	20.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	60.0%	2	40.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	20.0%	3	60.0%	1	20.0%
④ 夜間休日の対応	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%
⑤ 連携している医療機関	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	3	60.0%	2	40.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%

⑤ 60～69歳

7 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	3	42.9%	3	42.9%	1	14.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	42.9%	4	57.1%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	57.1%	3	42.9%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	4	57.1%	3	42.9%
⑤ 連携している医療機関	4	57.1%	2	28.6%	1	14.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	4	57.1%	3	42.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	28.6%	5	71.4%	0	0.0%

⑥ 70歳以上

11 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	6	54.5%	2	18.2%	1	9.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	8	72.7%	2	18.2%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	27.3%	4	36.4%	1	9.1%
④ 夜間休日の対応	3	27.3%	2	18.2%	5	45.5%
⑤ 連携している医療機関	7	63.6%	3	27.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	4	36.4%	1	9.1%	5	45.5%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	18.2%	4	36.4%	2	18.2%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	0	名	4	名	4	名	17	名	8	名	33	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	0		0		0		1		2		2		5	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		1		0		1	
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		0		0		0		4		5		9	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		0		2		1		3	
⑤ 住まいや職場の近所。	0		0		1		3		6		5		15	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0		0		0		1		5		4		10	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		0		0		1		2		2		5	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0		0		1		1		8		6		16	
② 外科	0		0		0		1		1		1		3	
③ 整形外科	0		0		0		0		1		0		1	
④ 婦人科	0		0		0		0		0		0		0	
⑤ 眼科	0		0		0		0		1		0		1	
⑥ 小児科	0		0		0		0		0		0		0	
⑦ その他（	0		0		0		1		0		0		1	

8. 【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%	1	12.5%	3	9.1%
② まあ足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	7	41.2%	4	50.0%	13	39.4%
③ やや不足している	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	1	25.0%	5	29.4%	3	37.5%	13	39.4%
④ 不足している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	17.6%	0	0.0%	4	12.1%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	0	名	4	名	4	名	17	名	8	名	33	名
12. 【全員】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 受診したことはないが知っている。	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	3	75.0%	15	88.2%	7	87.5%	29	87.9%
③ 知らない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	11.8%	1	12.5%	4	12.1%
13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	17.6%	3	37.5%	7	21.2%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	3	75.0%	8	47.1%	4	50.0%	19	57.6%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	13	76.5%	5	62.5%	21	63.6%
④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	100.0%	8	47.1%	3	37.5%	16	48.5%
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%	7	41.2%	1	12.5%	12	36.4%
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	6	35.3%	2	25.0%	9	27.3%
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	100.0%	8	47.1%	4	50.0%	17	51.5%
⑧ 通話環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	3	17.6%	2	25.0%	7	21.2%
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%	6	35.3%	2	25.0%	12	36.4%
⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	23.5%	3	37.5%	8	24.2%
⑪ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	2	11.8%	0	0.0%	5	15.2%
⑫ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	75.0%	2	11.8%	0	0.0%	5	15.2%
⑬ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	3	17.6%	0	0.0%	6	18.2%
⑭ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	23.5%	2	25.0%	7	21.2%
⑮ あてはまるものはない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%	0	0.0%	2	6.1%

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】		① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？								
① 筑紫野市内		0	0	3	2	7	3	15
② 福岡市内		0	0	0	0	2	0	2
③ 筑紫地区（筑紫野市以外）		0	0	0	1	2	0	3
④ その他（ ）		0	0	1	1	5	0	7
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？								
① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。		0	0	0	4	5	1	10
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。		0	0	4	0	12	5	21
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）								
① 業務のオンライン化・テレワークが進んだ。		0	0	0	2	3	0	5
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。		0	0	0	3	5	1	9
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。		0	0	0	1	1	1	3
④ 紙媒体の電子化が進んだ。		0	0	0	2	0	0	2
⑤ その他（ ）		0	0	0	0	0	0	0
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。								
① 自宅および自宅周辺。		0	0	3	4	16	7	30
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。		0	0	0	0	0	0	0
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。		0	0	1	0	0	0	1
④ 福岡県以外の、より田園地帯。		0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。		0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）		0	0	0	0	1	0	1
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？								
① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。		0	0	0	0	1	1	2
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。		0	0	0	3	1	1	5
③ 変わらない。		0	0	4	1	15	5	25

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族という時間が増えた。	0	0	0	0	1	0	1
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	0	0	0	0	1	1
③ IT関係のスキルの向上により効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	1	0	1
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	1	0	0	1
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	0	3	1	1	5
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	1	0	0	1
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	0	1	0	1	2
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

①変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	0	1	2	3	0	6
②変わらない	0	0	3	2	14	7	26

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

①より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	1	1	0	2
②より家族のことを重視するようになった。	0	0	1	1	3	0	5
③より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	1	0	1
④より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	1	0	0	1
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	1	0	1
⑥その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を 行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリラクセスできる公園などの施設。	0	0	0	0	0	0	0
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	0	1	6	1	8
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	0	0	1	2	2	5
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	0	0	2	2	5	0	9
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	0	4	3	4	1	12
⑥ その他（	0	0	2	3	8	4	17

(資料9)新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：筑紫南地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計

33 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	19	57.6%	10	30.3%	3	9.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	25	75.8%	8	24.2%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	11	33.3%	18	54.5%	3	9.1%
④ 夜間休日の対応	10	30.3%	18	54.5%	4	12.1%
⑤ 連携している医療機関	16	48.5%	14	42.4%	2	6.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	4	12.1%	17	51.5%	11	33.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	13	39.4%	15	45.5%	4	12.1%

① 29歳以下

0 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

② 30～39歳

0 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

③ 40～49歳

4 名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	2	50.0%	2	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%

④ 50～59歳

4 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	25.0%	1	25.0%	1	25.0%
⑤ 連携している医療機関	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%

⑤ 60～69歳

17 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	9	52.9%	4	23.5%	3	17.6%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	12	70.6%	5	29.4%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	6	35.3%	7	41.2%	3	17.6%
④ 夜間休日の対応	7	41.2%	9	52.9%	1	5.9%
⑤ 連携している医療機関	9	52.9%	6	35.3%	2	11.8%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	4	23.5%	10	58.8%	3	17.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	6	35.3%	7	41.2%	3	17.6%

⑥ 70歳以上

8 名

	必要だ（ア）		まあ必要だ（イ）		特に必要ない（ウ）	
① かかりつけ医の診療実績	4	50.0%	4	50.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	5	62.5%	3	37.5%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	25.0%	6	75.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	25.0%	4	50.0%	2	25.0%
⑤ 連携している医療機関	4	50.0%	4	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	4	50.0%	4	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	37.5%	4	50.0%	1	12.5%

【資料10】 【IV. 5類移行後の医療システムおよび働き方の変化について】

「【全員】新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した後に、医療サービスの受け方および働き方を変える予定がありましたら、どのように変えるかお書きください。」という質問に対しての回答は下記の通りである。なお、回答の一部は内容を変えない範囲で省略している。

【70歳以上】

- ① 「5類」へ移行するとともに医療情報が途絶えた。(男・二日市地区)
- ② 「5類」へ移行後も発熱者を厳格に区別し、ドライブイン方式で診療している病院があるのはおかしい。早く普通の受付・診療ができるように願いたい。(男・二日市東地区)
- ③ 「かかりつけ医」よりメールの配信があった(男・御笠地区)
- ④ インフルエンザ同等の対処薬剤の開発と周知。先進国として薬の開発への国のテコ入れが足りない。(男・筑紫地区)
- ⑤ 働き方としては機械と対峙する時間が増えたと思うので、休憩時間をメリハリ良く取っていききたい。(男・筑紫南地区)

【60～69歳】

- ⑥ オンラインによる予約や急病の場合の受け入れ態勢の整備が必要。また薬の提供をもっと早く、シンプルに。(女・二日市地区)
- ⑦ 日頃から予防、免疫力アップを図る。(女・二日市地区)
- ⑧ 医療サービスはコロナ前と同様に対面での受信を希望する。また働き方はコロナ渦と同様に出勤とテレワークの併用が続いている。医療機関の営業時間はクリニックではコロナ渦前に戻ってきたが、大病院での営業は今でも制限されていることが多いです。(男・二日市東地区)
- ⑨ 医療従事者のため、働き方、医療サービスの受け方は従来と変わらない。ただし、時間の使い方は短時間労働に変わっていくと思われます。(男・筑紫南地区)
- ⑩ 蜜を避けることを引き続き行う。マスクを着ける。電子カルテの活用。(男・筑紫南地区)
- ⑪ できるだけオンラインを利用した受診にしていきたい。(男・筑紫南地区)

【50～59歳】

- ⑫ 予防接種が有料になり負担が増えるので次回から受けるか迷っている。接種後、発熱するがアレルギーがあり解熱剤を飲めないで2～3日休むことになるためそれも負担が大きい。(女・筑紫南地区)
- ⑬ 情報弱者に優しい医療・働き方も必要。(女・筑紫南地区)
- ⑭ 5類に移行したがまだ発熱があるなしで簡単に受診ができない病院が多い。(女・筑紫南地区)

【40～49歳】

- ⑮ 地域に蜜する仕事のため独居している方々が感染症にかかった場合の医療体制や相談窓口の確保などをできるように日頃から情報を確認して地域の方々にアドバイスできるよう勉強したい。(女・山口地区)
- ⑯ 子供がいるため、今年の冬は本当にどう判断したら良いのか悩んだ。極力、病院に行かなくなった

（女・筑紫地区）

⑰ 介護従事者（ケアマネジャー）ですが 5 類に移行しても介護現場での対応は変わらず、面会にも制限を設けている現状は変わりません。利用者・家族とのコミュニケーションや施設・医療機関との情報連携はコロナ前と比べて不足していると感じます。働き方を変えていくこと、手当てが何かあればと思いますが現状はない状況です。（男・筑紫地区）

【30～39 歳】

・（回答なし）

【29 歳以下】

・（回答なし）

以上

令和5年11月

筑紫野市にお住まいの皆様

新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査（協力ご依頼）

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、医療システムや働き方も新しい展開になると予想されます。医療システムに関して5類後は特別対応をやめ、通常医療への移行に踏み出すことになり、検査等自己負担部分が増加することになります。また働き方に関してもオフィス出社回帰が指摘されますが、ひとつの働き方として定着してきたテレワークを採用し続ける際の工夫についても検討されることになるはずです。

九州産業大学商学部 浅川哲郎研究室では、「新しい福祉社会」のあり方を念頭に、「新型コロナウイルス後の働き方および医療システムのあり方」について調査・研究しています。特に問題解決の上でネットワーク型の組織および情報公開のあり方に解答を求める点に特徴があると考えております。筑紫野市は福岡市から南に約15km、久留米市から北に約20kmの地点にあり、両市の中間に位置する便利なベッドタウンであり、また宝満川沿いに広がる田園地帯を有する自然に恵まれた立地にあります。このような環境にある筑紫野市民が新型コロナウイルス流行後にどのように働き方を変化させたか、またコロナ禍の中で医療情報をどのように入手したか、を調査することは他の同様なベッドタウンの都市の福祉システムの構築にも寄与するものと思料します。つきましては下記の調査票（アンケート）の回答へご協力いただけたら幸いです。

記

1. 調査対象・想定する回答者

福岡県筑紫野市在住者。

2. 回答締切り

令和6年1月31日。同封の返信用封筒にて返信ください。

3. 調査結果の発表

令和6年年度刊行予定の九州産業大学商学部紀要「商経論叢」にて発表予定（本学ホームページから閲覧可能です。）。

以 上

九州産業大学商学部 浅川哲郎

（メール：asakawa@ip.kyusan-u.ac.jp 電話：092-673-5241）

新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票

※該当する項目の数字に○をつける形でお答えください。また、【全員】と記されている項目は、全員の方にお答えいただきたい項目です。

【Ⅰ. 回答者のデータ】

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか（() 内は公民館名の一部）？

- ① 二日市地区（杉塚、北杉塚、塔原、六反、本町、入舟、中央、栄町、昭和、次田、大坪、等）
- ② 二日市東地区（紫、天神、旭東、東新町、紫ヶ丘、石崎、若葉中原、針摺、等）
- ③ 山口地区（平等寺、山口、萩原、立命寺、むさしヶ丘）
- ④ 御笠地区（柚須原、香園、本道寺、大石、原、宮の森、ゴルフ場団地、みかさ台、西吉木、等）
- ⑤ 山家地区（山家1区、山家2区、山家3区、山家中央区、山家6区、山家7区、等）
- ⑥ 筑紫地区（城山、筑紫、ちくしヶ丘、ちくし台、下見、美咲、岡田、諸田、常松、永岡、等）
- ⑦ 筑紫南地区（原田、光が丘、隈、西小田、馬市、美しが丘北、美しが丘南）

2. 【全員】年齢をお答えください。

- ① 29歳以下
- ② 30～39歳
- ③ 40～49歳
- ④ 50～59歳
- ⑤ 60～69歳
- ⑥ 70歳以上

3. 【全員】性別をお答えください。

- ① 男性
- ② 女性

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

- ① 既婚
- ② 未婚

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

※非正規雇用の方は、勤め先での呼称により選択肢を回答してください。

- ① 正規雇用（労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）
- ② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規雇用
- ③ 会社などの役員
- ④ 自営業
- ⑤ 内職・在宅ワーク
- ⑥ 学生（高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等）
- ⑦ 無職
- ⑧ その他（ ）

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「**全般的な生活の満足度**」はどのように変化しましたか？

- ① 満足度は著しく高まった。
- ② 満足度は高まった。
- ③ 変わらない。
- ④ 満足度は低くなった。
- ⑤ 満足度は著しく低くなった。

【Ⅱ. 医療情報の入手方法：医療サービスの需要者としての立場】

1. 【全員】 コロナ禍において医療情報の提供は十分と感じましたか？

- ① 十分であった。
- ② 十分ではなかった。→ 下記 2. にお進みください。

2. 上記 1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？（複数回答可）

- ① 感染者数の推移。
- ② 受け入れ可能な医療機関。
- ③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。
- ④ 感染を防ぐための手段。
- ⑤ その他（ ）

3. 【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？（複数回答可）

- ① テレビや新聞などの大手マスコミ。
- ② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。
- ③ 病院などの医療機関。
- ④ 家族など身近な人。
- ⑤ その他（ ）

4. 【全員】 「かかりつけ医」はいますか？

- ① いる。→ 下記 5. にお進みください。
- ② いないがいるとよいと思う。
- ③ いない。
- ④ わからない。

※「かかりつけ医」とは、「何でも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医を紹介でき、身近で頼りになる総合的な能力を有する医師」のことを言う。

5. 上記 4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。

- ① 身近で何でも相談できる。
- ② 最新の医療技術を熟知している。
- ③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。
- ④ 総合的な診療を行う能力を有している。
- ⑤ 住まいや職場の近所。
- ⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。
- ⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。
- ⑧ その他（ ）

6. 上記 4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

- | | |
|--------|-------|
| ① 内科 | ② 外科 |
| ③ 整形外科 | ④ 婦人科 |
| ⑤ 眼科 | ⑥ 小児科 |
| ⑦ その他（ | ） |

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きます。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

		必要だ	まあ必要だ	特に必要ない
① かかりつけ医の診療実績	→	(ア)	(イ)	(ウ)
② かかりつけ医が得意としている治療分野	→	(ア)	(イ)	(ウ)
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	→	(ア)	(イ)	(ウ)
④ 夜間休日の対応	→	(ア)	(イ)	(ウ)
⑤ 連携している医療機関	→	(ア)	(イ)	(ウ)
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	→	(ア)	(イ)	(ウ)
⑦ 患者や利用者からの評価	→	(ア)	(イ)	(ウ)

8. 【全員】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

- ① 足りている ② まあ足りている ③ やや不足している ④ 不足している

9. 【全員】健康なときからかかりつけ医を持っておくために、何があると良いと思いますか？あてはまるものをすべてお答えください。

- ① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）
 ② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）
 ③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）
 ④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）
 ⑤ 地域の医師の話を聞く場や講演会など。
 ⑥ その他（

10. 【全員】あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。

- ① どんな病気でもまずは診療できること。
 ② あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと。
 ③ 専門医又は専門医療機関への紹介。

- ④ あなたのこれまでの病歴や処方すべて把握していること（一元的に管理）。
- ⑤ 夜間・休日の問い合わせへの対応。
- ⑥ 複数医師の体制（かかりつけ医が不在の時などに連携した別の医師が対応する体制）。
- ⑦ 予防医療（健診・検診）、ワクチン接種などの実施。
- ⑧ 往診や訪問診療などの在宅医療。
- ⑨ 介護サービスへのつなぎ。
- ⑩ 感染症発生時など有事への対応。
- ⑪ 患者に寄り添う親身な対応。
- ⑫ その他（

11. 【全員】 オンライン診療についてお尋ねします。

- ① 受診したことがある。
- ② 受診したことはないが知っている。
- ③ 知らない。

12. 【全員】 オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。

- ① COVID-19 が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。
- ② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。
- ③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。
- ④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。
- ⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。
- ⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。
- ⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。
- ⑧ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。
- ⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。
- ⑩ 診察時間の選択肢が更に広がるとよい。
- ⑪ 1 回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい
- ⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい
- ⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。
- ⑭ 支払いや決済の選択肢が更に広がるとよい
- ⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい
- ⑯ あてはまるものはない

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】

1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？

- ① 筑紫野市内 ② 福岡市内 ③ 筑紫地区（筑紫野市以外） ④ その他（ ）

2. 【全員】 コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

- ① 変わった。 → 下記 3. にお進みください。
② 変わらない。 → 下記 4. にお進みください。

3. 上記 2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

- ① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。
- ② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。
- ③ 勤務先の執務場所のレイアウト等に変化があった。
- ④ 紙媒体の電子化が進んだ。
- ⑤ その他（ ）

4. 【全員】 これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

- ① 自宅および自宅周辺。
- ② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。
- ③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。
- ④ 福岡県以外の、より田園地帯。
- ⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。
- ⑥ その他（ ）

5. 【全員】 コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

- ① 高まった。 → 下記 6. にお進みください。
② 低くなった。 → 下記 7. にお進みください。
③ 変わらない。

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

- ① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族という時間が増えた。
- ② 不必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。
- ③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。
- ④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出てきた。
- ⑤ その他（ ）

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

- ① コロナ禍が原因で収入が低くなった。
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。

- ③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。
- ④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。
- ⑤ その他 ()

8. 【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

- ①変わった。 → 下記 9. にお進みください。
②変わらない

9. 上記 8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

- ①より自分自身のことを重視するようになった。
②より家族のことを重視するようになった。
③より地域のことを重視するようになった。
④より会社のことを重視するようになった。
⑤より仕事の達成感を重視するようになった。
⑥その他（ ）

10. 【全員】今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか？
(複数回答可)

- ① 業務の間にリラックスできる公園などの施設。
- ② 手軽に調査などができる図書館。
- ③ 身近に利用できる事務所のような設備。
- ④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。
- ⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。
- ⑥ その他（ ）

【IV. 5類移行後の医療システムおよび働き方の変化について】

【全員】新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5 類」に移行した後に、医療サービスの受け方および働き方を変える予定がありましたら、どのようにするかお書きください。

以　　上
ありがとうございました。